に折れ曲がり、南西方向に5.3 m以上延びる。南側は20号溝跡によって切られているが、おそらくここで90°に折れ曲がり北西方向に3.2 mほど延びて立ち上がる。最大幅は0.8 m、検出面からの深さは最大で0.4 mほどある。溝の断面形は逆台形になっている。溝の北壁と西壁寄りでは非常に多くの礫がみつかっている。その状況は、溝の北壁及び西壁に貼り付けられたようなものと、溝内に流入する状態のものの2種類が確認された。流入したものについても、溝の北側から転落するような状況が見て取れることから、溝のより北側に石を貼り付けた墳丘状の施設が存在した可能性が考えられる。

堆積土は4層に分層した。 ℓ 1は非常に多くの礫が溝の内側から流れ込むように堆積していた。 ℓ 2は溝の外側から流入するように堆積している層で、L \mathbb{N} a とみられる小土塊が含まれている。 ℓ 3は溝の内側の壁に沿って堆積する層である。 ℓ 4は部分的に粗砂が少量含まれている。堆積土に礫や小土塊が含まれていることから、人為堆積と考えている。

遺 物(図76、写真55)

19号溝跡からは土師器25点、陶器1点が出土した。図76-1は陶器の常滑焼で、甕もしくは壺である。

20号溝跡からは土師器151点、須恵器2点、石製品1点が出土した。図76-2は石製品の臼玉で、側面が左右非対称である。

21号溝跡からは土師器78点、須恵器1点、陶器14点が出土した。図76-3は陶器の常滑焼である。押印帯のある甕で、口唇部がつまみ上げらえている。

まとめ

19~21号溝跡は並行して延びることから、同一地点における溝の掘り直しと考えている。そのなかでも21号溝跡では、その北壁から西壁にかけて礫を貼り付けていた状況が想定される。

19~21号溝跡の時期は出土遺物から中世を考えている。 (吉野・神林)

第7節 祭 祀 跡

調査区北部から祭祀跡を3箇所確認した。その状況は土師器を人為的に配置し、石製模造品や土 玉が土出していることから、祭祀跡とした。3号祭祀跡が最も規模が大きい。

1号祭祀跡

遺 構(図77、写真43)

1号祭祀跡は調査区北西端部のB2グリッドに位置し、検出面はLWaの上面である。重複する 遺構はなく、西側に3号祭祀跡、東側に1号畑跡が隣接する。

本遺構は重機による表土掘削作業中に、完形の土師器が複数出土したことで認識された。当初は 竪穴住居跡などの可能性を想定して周辺を精査したが、掘り込みやカマドなどの痕跡は一切認めら

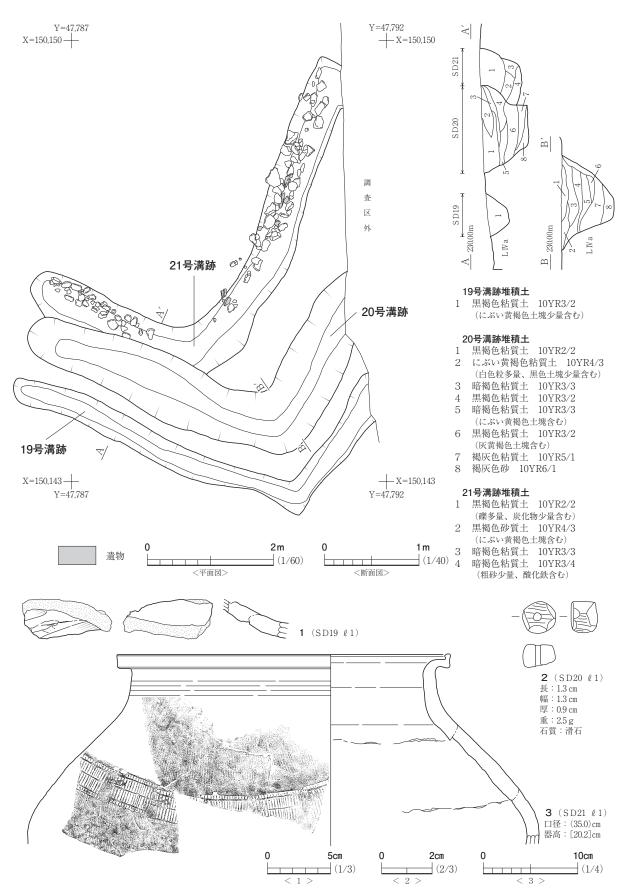


図76 19~21号溝跡·出土遺物

れないことから、土師器がそのままLIVa上面にまとめ置かれたものと判断した。

土師器は東西1.1 m、南北0.5 mの範囲から出土した。出土した土師器は杯がほとんどで、多くは 2~3点1組が正位の入れ子状態で、南北1列ずつ東西方向に並べられていた。出土した土師器は土 圧や、表土掘削時の影響で一部が割れたものもみられたが、比較的良好に形を保った状態であった。

南列は西から、①正位で置かれた深めの土師器杯 1 点(図78 – 11)、②正位で置かれた入れ子状態の土師器杯 2 点(図77 – 4 · 6)、③正位で置かれた入れ子状態の土師器杯 3 点(図78 – 1 · 3 · 9)+逆位で土師器杯上に置かれた粗製杯 2 点(図78 – 13 · 15)、④正位で置かれた入れ子状態の土師器杯 3 点(図77 – 2 · 5、図78 – 10)+土師器杯 1 点(図78 – 4)上に置かれた円盤状の扁平な礫(図78 – 17)、というように配列されている。このうち①の内部からは非常に細かい粒状の鍛冶滓が出土しており、土器を置く際に入れられたものと思われる。

北列は西から、⑤正位で置かれた土師器甕の胴部から底部 1 点(図78-16)、⑥正位で置かれた 小型鉢(図78-12)+鉢から転落したような状態の粗製杯(図78-14)、⑦やや深めの土師器杯 1 点(図77-1)、⑧正位で置かれた土師器杯 1 点(図77-3)+そこから動いたとみられる土師器杯 1 点(図78-7)、という配列となっている。このうち⑥の図78-14の内部からは粒状の鍛冶滓が出土しており、土器を置く際に入れられたものと思われる。

遺 物(図77·78、写真56)

遺物は土師器273点、土製品1点、鍛冶滓3点、礫1点が出土した。

図77-1~6、図78-1~11は土師器杯である。図77-2~6、図78-1~5・7~9の器形は、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。図77-1~6、図78-1~9・11の底部は丸底である。その他の器形は、図77-1では口縁部が外反し、口縁部と体部の境に段がみられない。図78-11では口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられる。図77-1~6、図78-1~6の内面にはヘラミガキ・黒色処理が、図78-7~11の内面にはヘラミガキが施されている。土師器杯の色調の多くは黄褐色系であるが、図78-8が赤褐色、図78-9・11が明赤褐色となっている。

図78 - 12は土師器の小型鉢である。底部外面には木葉痕とそれをスリ消したヘラケズリがみられ、中央部に圧痕による窪みがみられる。

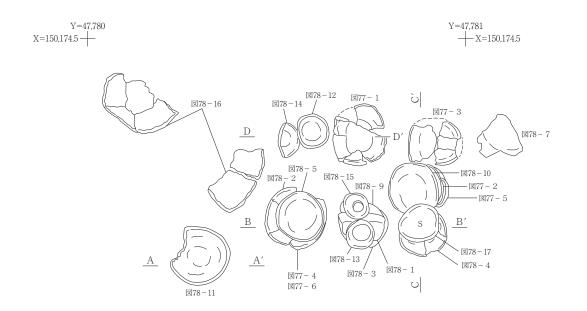
図78-10·13~15は粗製杯である。10·13·14には木葉痕がみられる。色調は10·13がにぶい黄褐色、14が明赤褐色、15が赤褐色である。

図78-16は土師器甕で、内外面ともにヘラナデが施されている。

図78-18は土玉で、焼成前の穿孔が施され、側面は非対称となっている。図78-17は扁平な礫で、図78-4の上に置かれた状態で出土したことから、本遺構を構成する遺物として取り上げて図示した。

まとめ

1号祭祀跡は1.1m×0.5mと狭い範囲に、複数の土器を意図的に遺棄した遺構である。出土した



1号祭祀跡

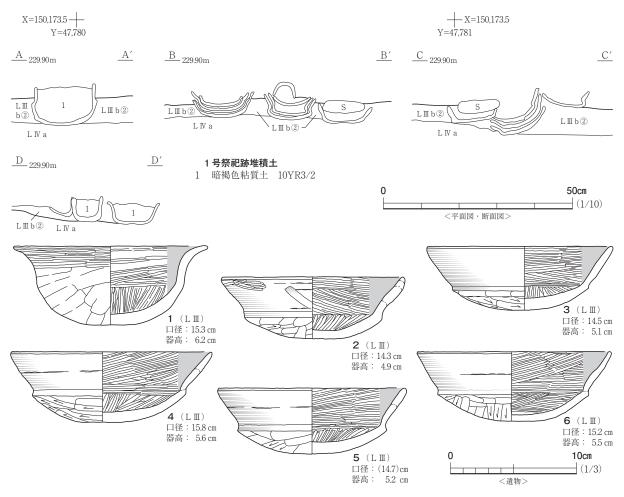


図77 1号祭祀跡·出土遺物

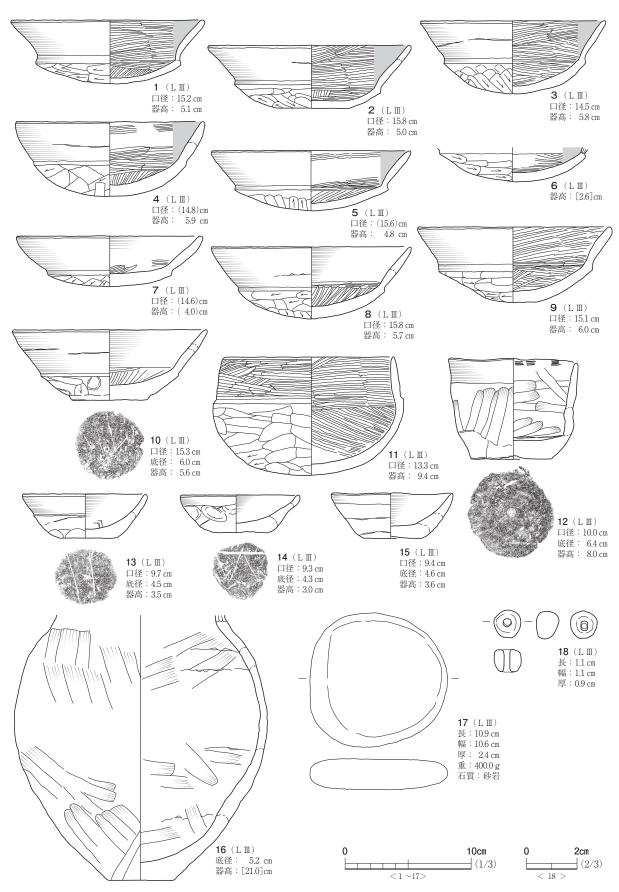


図78 1号祭祀跡出土遺物

土師器は杯や鉢と、いった小型の器種が多く、杯は正位で2~4点重ねられ、さらにその上に粗製杯や円盤状の扁平な丸石が置かれている。比較的深さのある土器の内部には鍛冶滓が入れられており、祭祀の際に用いられた奉納品である可能性も考えられる。

本遺構の年代は、出土した土器の様相から7世紀前半ごろと考えらえる。 (吉野・神林)

2号祭祀跡

遺 構(図79、写真43)

2号祭祀跡は調査区北部のB 6 グリッドに位置する。第 1 遺物包含層と重複し、新旧関係は不明である。本遺構は、土師器杯・壺・甕と土製品が置かれていたことから祭祀跡とした。本遺構の範囲は東西 $1.05\,\mathrm{m}$ 、南北 $0.42\,\mathrm{m}$ である。遺存状態が良好ではなく、図 $79-1\cdot5\cdot8$ などの杯が正位で置かれ、それ以外の土師器・土製品は破片の状態で $\mathrm{L}\,\,\mathrm{II}\,\cdot\mathrm{IV}$ から出土した。なお、図 79-6 は、底部を打ち欠いていた。

遺 物(図79·80、写真57)

2号祭祀跡からは土師器302点、土製品1点、かわらけ1点が出土した。

図79 – $1 \sim 9$ は土師器杯である。器形をみると、 $1 \sim 3$ は口縁部が外反し、 $4 \sim 9$ は口縁部が外傾する。 $4 \cdot 7 \cdot 8$ は口縁部と体部の境に段がみられる。 $1 \cdot 3 \cdot 7 \cdot 8$ の底部は丸底で、 $4 \cdot 5$ は平底である。調整をみると、 $1 \sim 3 \cdot 5$ の内面にはヘラミガキ・黒色処理が、 $4 \cdot 6 \sim 9$ の内面にはヘラミガキが施される。 $1 \cdot 2 \cdot 7$ は外面にもヘラミガキが施されている。色調をみると、杯の多くは黄褐色系で、 $4 \cdot 6 \cdot 8$ は赤褐色である。

図79-10は土製品のミニチュア土器である。口縁部と体部は直立気味に立ち上がり、底部は平 底である。

図80-1は土師器壺である。口縁部は外傾し、頸部には沈線が巡り、胴部は球形をなす。口縁部はヨコナデ、内面にはヘラミガキも施されている。胴部は外面では上半にヘラミガキ、下半にヘラケズリ、内面ではヘラナデが施されている。

図80-2~6は土師器甕である。1は胴部下半から底部で、内外面にハケメが施され、外面が縦方向、内面は横方向となっている。3~5は底部である。3は丸底で、4・5は平底である。3・4は外面がヘラケズリ、内面ヘラナデが施されている。4は底部外面にヘラナデが施されている。6は胴部上半で、外面はハケメ、内面はヘラナデが施されている。

図80-7はかわらけの小皿で、手づくね成形である。

まとめ

2号祭祀跡は3号祭祀跡と比べると小規模な祭祀跡で、遺存状態も悪かった。土玉や石製模造品などは出土していないが、土製品や底部を打ち欠いた土師器杯などが出土している。本祭祀跡の時期は、出土遺物から6世紀後半と考えている。 (吉 野)

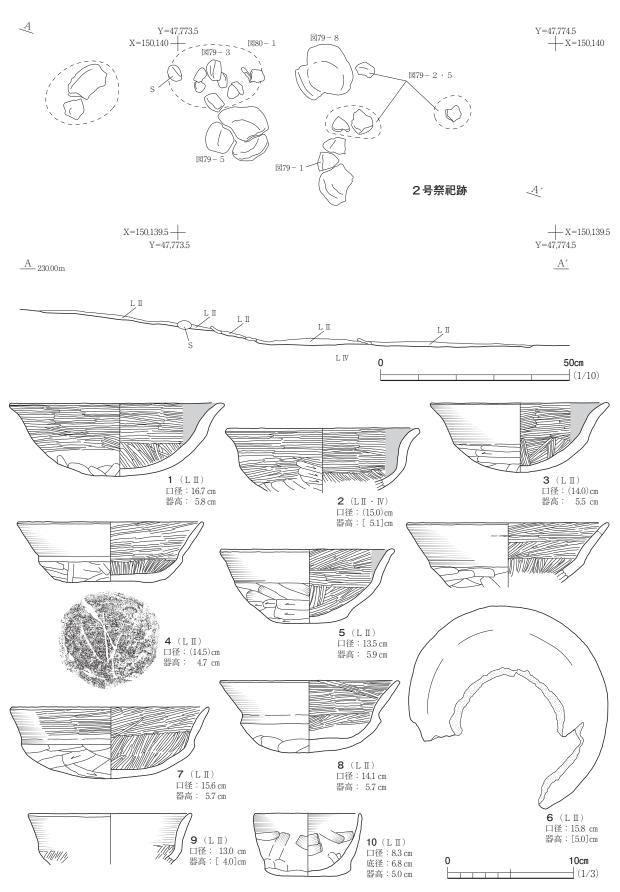


図79 2号祭祀跡·出土遺物

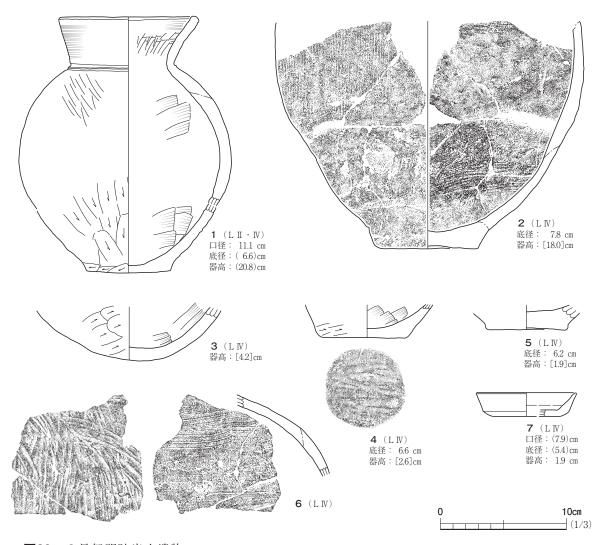


図80 2号祭祀跡出土遺物

3号祭祀跡

遺 構(図81~83、写真44·45)

調査区南端部のA・B 2 グリッドに位置する。重複する遺構は無く、東側に1 号祭祀跡、1 号畑 跡が隣接している。

表土除去作業中に、完形の土師器やそれに接するような礫が複数検出された。当初、竪穴住居跡のなどの可能性を想定して周辺を精査したが、掘り込みなどは認められず、土器がそのままし \square b①・②、 \square L \square L

遺物は東西6.6 m、南北8.4 mと比較的広範囲にわたって出土した。出土状況から、調査区西壁より外側にも広がっていると思われる。なかでも図83の中央部分では、土師器壺・甕が正位または横転したような状態でまとめ置かれた様子が確認された。

一方、この土師器甕の周縁部では、土師器杯の出土が目立つ(図82)。さらに、土製品や石製模造品などが土師器杯・壺・甕に混じって出土している。

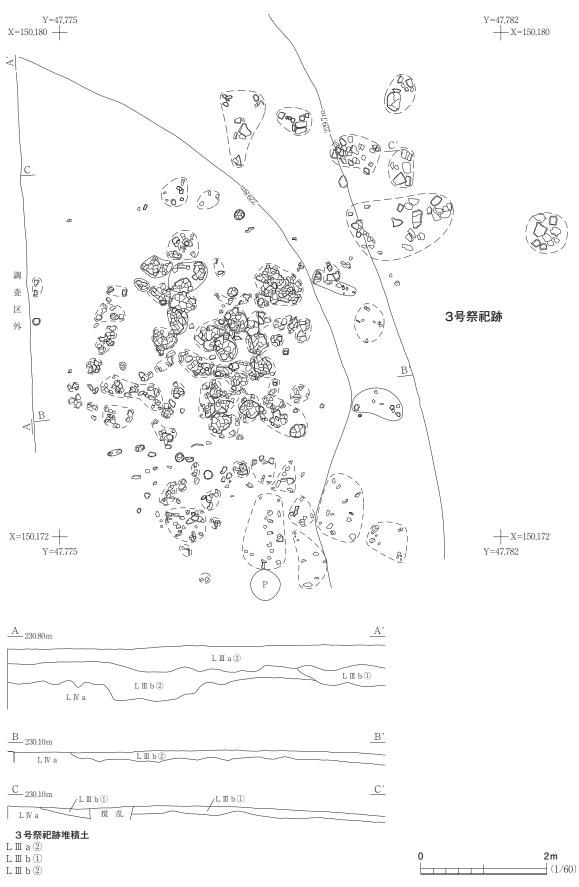


図81 3号祭祀跡

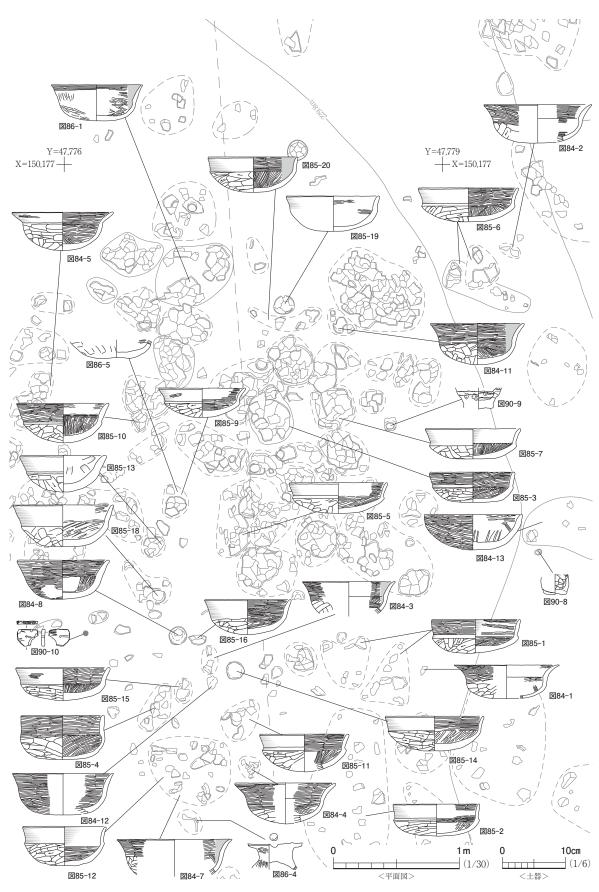


図82 3号祭祀跡遺物出土状況(1)

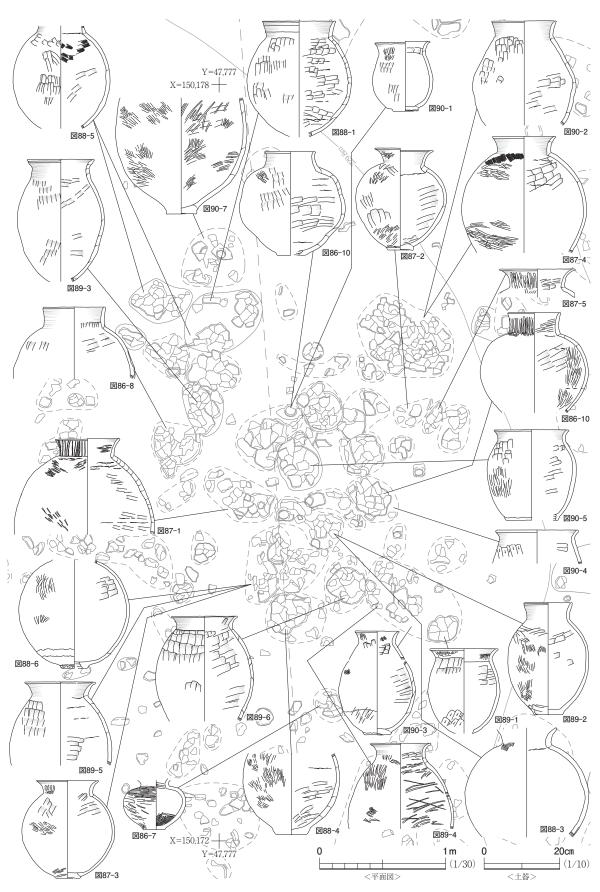


図83 3号祭祀跡遺物出土状況(2)

缴 (図84~90、写真57~60)

遺物は土師器7,895点、須恵器1点、陶磁器7点、弥生土器11点、土製品2点、石製品1点、鉄製品3点が出土した。

図84・85、図86 -1 \sim 3 \cdot 5 は土師器杯である。杯の器形をみると、図84 -1 \sim 4 \cdot 7 \cdot 9 11・12、図85 -17は口縁部が外反し、口縁部と体部の境に段がみられない。図85 -1 \sim 3 は口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられる。図85 -5 \sim 15 \cdot 18 \cdot 20 は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。図85 -16 \cdot 19、図86 -1 は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられない。図85 -4 は口縁部がやや長く直立し、口縁部と体部の境に段がみられない。

杯の調整をみると、内面では、ヘラミガキが一様に施されているが、図85 – 13・図86 – 3・5 ではヘラナデが施されている。さらに、内面の黒色処理は、図84 – 3・7・9・11、図85 – 8・17・20、図86 – 1・2 に施されている。

外面では、図84 – $1 \sim 4 \cdot 6 \cdot 7 \cdot 9 \cdot 10 \cdot 11 \cdot 14$ 、図85 – $1 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 10$ の口縁部にヘラミガキ、体部にヘラケズリが施されている。図84 – $8 \cdot 12 \cdot 13$ は口縁部から体部にかけてヘラミガキが施されている。図85 – $2 \cdot 5 \sim 9 \cdot 11 \sim 18 \cdot 20$ 、図86 – 2 は口縁部にヨコナデ、体部にヘラケズリが施されている。

杯の色調は、図84 – $1 \sim 5 \cdot 8 \cdot 11 \sim 14$ 、図85 – $2 \cdot 4 \sim 12 \cdot 14 \cdot 16 \cdot 18 \sim 20$ は赤褐色で、それ以外は黄褐色系である。図85 – 6 の底部内面、図84 – 9 、図85 – 8 、図86 – 5 の底部外面には線刻が施されている。図84 – 8 の底部の一部は打ち欠かれている。

図86-4は高杯で、杯部の中央に円形の圧痕が、外面にヘラミガキが施される。

図86 - 6 ~ 10、図87、図88 - 2 ~ 4 · 6、図89 - 2 · 4、図90 - 7は土師器壺である。図86 - 6 · 7は小型壺で、6では口縁部は直立し、胴部は球形を呈する。調整は、外面はヘラミガキ、内面はヘラナデが施されている。7の頸部は屈曲し、胴部は中程で張り出す。内外面にヘラナデ、ヘラミガキが施されている。図86 - 9 · 10は口縁部が直立し、胴部が球形を呈する。9 · 10は口縁部にヨコナデ、胴部にヘラナデ・ヘラミガキが施される。10は口縁部にヘラミガキ、胴部は内面でヘラナデ、ヘラミガキが施される。図87 - 1の口縁部は外傾し、胴部は長胴を呈する。図87 - 2 ~ 4の口縁部は外傾し、胴部が球形を呈する。図87 - 1 ~ 3 · 5は口縁部にヨコナデ・ヘラミガキ、1 ~ 3の胴部にヘラナデ・ヘラミガキが施されている。図87 - 4は口縁部にヨコナデ・ヘラミガキ、1 ~ 3の胴部にヘラナデ・ヘラミガキが施されている。図87 - 4は口縁部にヨコナデ、胴部外面にハケメ・ミガキ、胴部内面にヘラナデが施される。図88 - 2の口縁部は外傾し、胴部は球形を呈する。口縁部はヨコナデ、胴部は皮が高される。図88 - 4の胴部は長胴を呈し、外面にヘラミガキ及びヘラナデ、内面にヘラナデが施される。図89 - 2の口縁部は外傾し、胴部は長胴を呈する。口縁部にヨコナデ、胴部にヘラナデが施される。図89 - 2

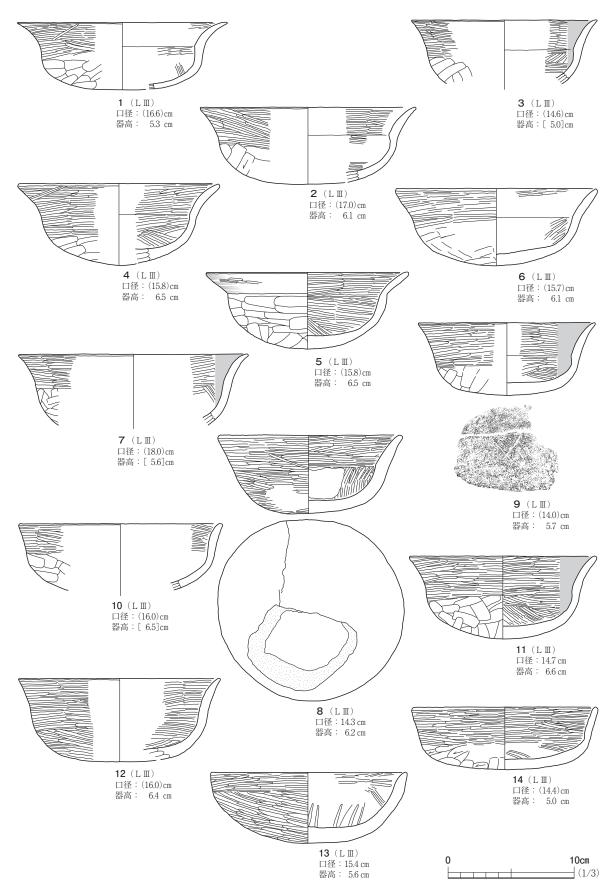


図84 3号祭祀跡出土遺物(1)

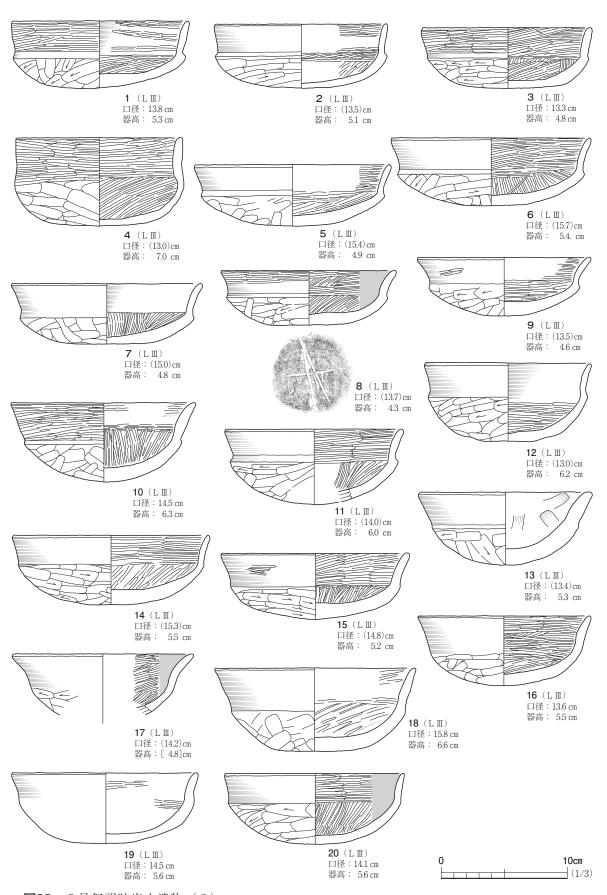


図85 3号祭祀跡出土遺物 (2)

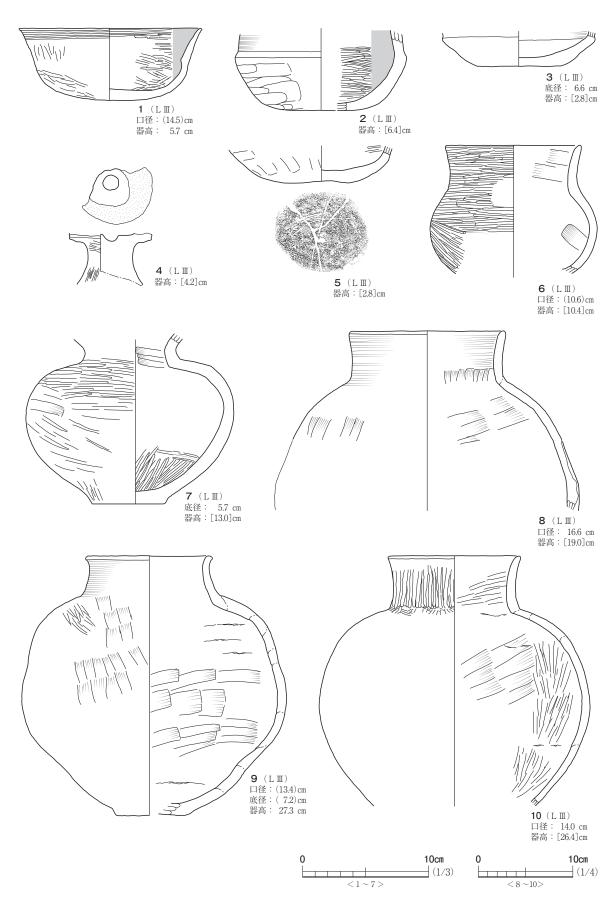


図86 3号祭祀跡出土遺物(3)

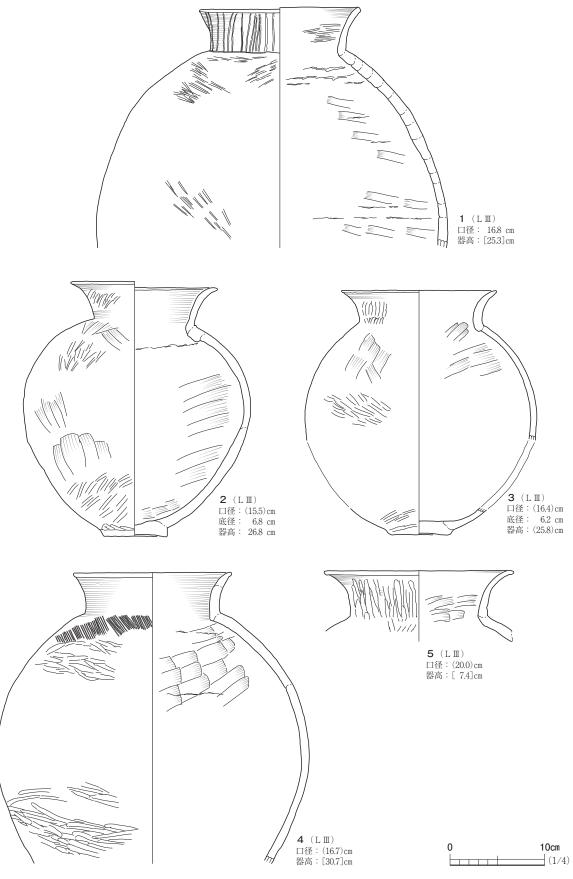


図87 3号祭祀跡出土遺物(4)

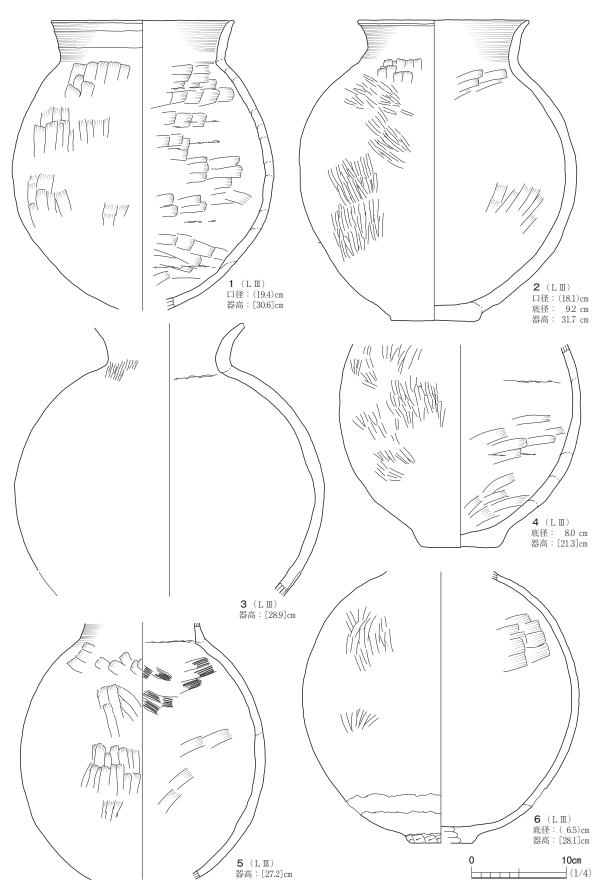


図88 3号祭祀跡出土遺物(5)

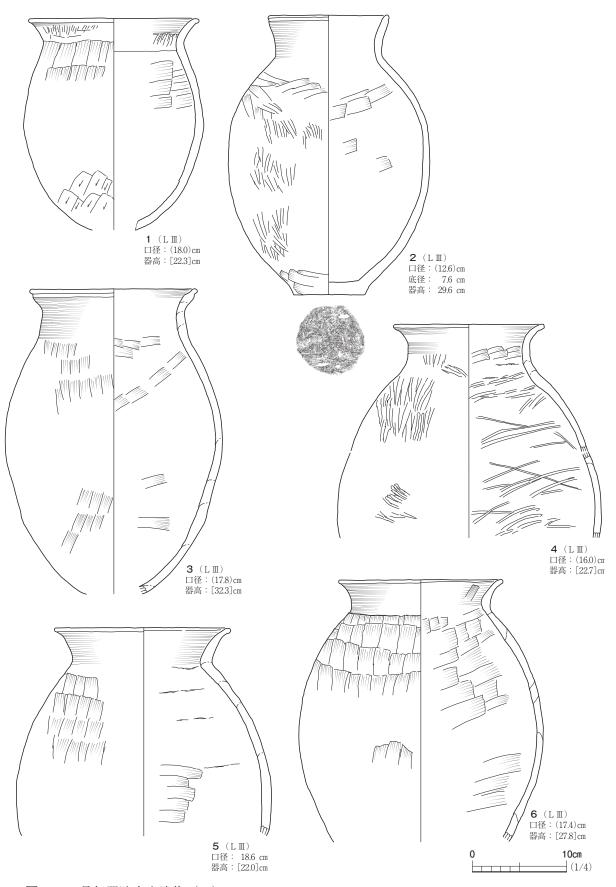


図89 3号祭祀跡出土遺物 (6)

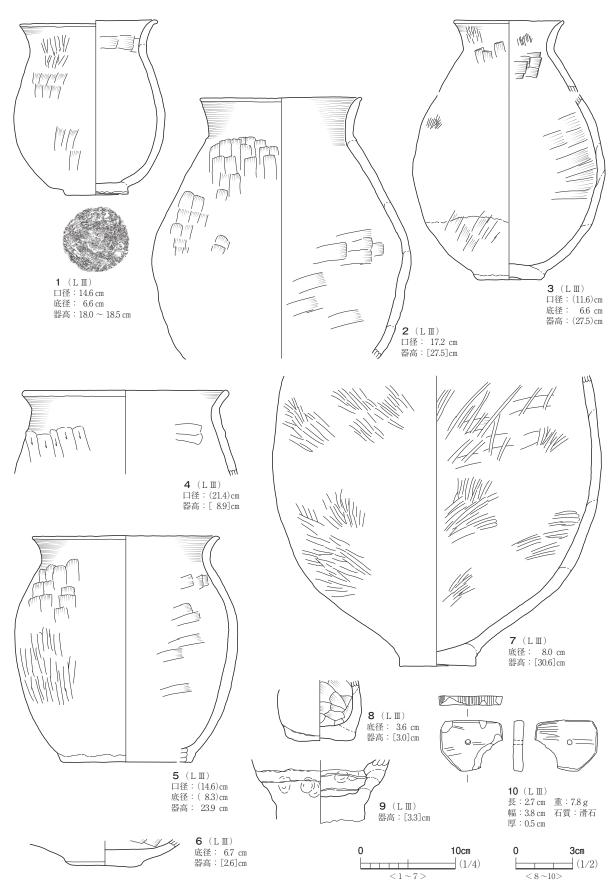


図90 3号祭祀跡出土遺物 (7)

デ、胴部にヘラナデ・ヘラミガキが施される。図90-7は胴部が長胴を呈する。胴部にはヘラミガキが施されている。

図88-1・5、図89-1・3・5・6、図90-1~6は土師器甕である。図88-1の口縁部は 外傾し、胴部は球形を呈する。口縁部はヨコナデ、胴部は内外面へラナデ・ヘラミガキなどが施される。図88-5の胴部は長胴を呈し、外面にヘラミガキ及びヘラナデ、内面にヘラナデが施される。

図89-1・3・5・6、図90-5の口縁部は屈曲し、胴部は長胴を呈する。口縁部はヨコナデ・ヘラミガキ、胴部はヘラケズリ・ヘラナデ・ヘラミガキなどが施される。

図90-1は小型甕で、口縁部は外反し、胴部下半に最大径を有している。口縁部にヨコナデ、胴部にヘラナデ・ヘラミガキなどが施される。図90-2・3は口縁部が外傾し、胴部下半に最大径を有するものである。口縁部はヨコナデ・ヘラミガキ、胴部はヘラナデが施されている。図90-4は口縁部が屈曲する。口縁部はヨコナデ、胴部はヘラケズリが施される。図90-6の底部内面にはヘラナデが施されている。

図90-8・9は土製品のミニチュア土器で、器面には指ナデや指頭圧痕などがみられる。9は高杯を模したものであろう。図90-10は石製模造品の有孔円板である。穿孔は片側方向からとみられる。

まとめ

3号祭祀跡は調査区で確認した祭祀跡のなかで、最も規模が大きなものである。出土した土師器杯には黒色処理が施されていないものもあり、本遺跡の特徴といえよう。その時期は6世紀後半であり、出土した土器の様相から1号祭祀跡より古い時期のものと考えられる。 (吉野・神林)

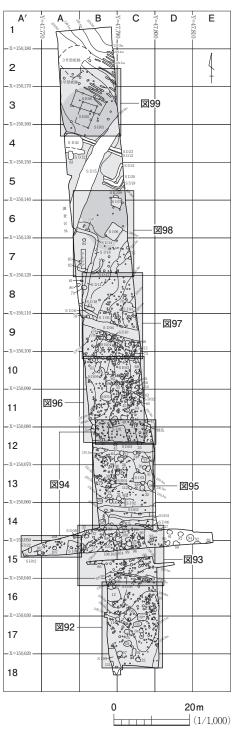
第8節 小 穴

講 構(図91~99、写真48)

小穴は1,483基を確認した。小穴の番号はグリッド毎に付けたものである。表6~15に規模、堆積土などの所見をまとめた。他の遺構と重複する小穴については、備考欄に新旧関係を古い遺構→新しい遺構とし、新旧関係が不明なものについては、重複する遺構名と重複すると明記した。

小穴は、調査区北端部と83号土坑、2号井戸跡、 $12 \cdot 19 \sim 21$ 号溝跡が位置する調査区北部、 $87 \sim 92 \cdot 94$ 号土坑が位置する調査区東端部ではみられない。83号土坑、2号井戸跡、12号溝跡が位置するのは、15号溝跡の西側である。さらに、15号溝跡の西側には、 $5 \cdot 6$ 号建物跡が位置しその周囲に小穴が僅かながら分布している。これらの建物跡の時期は古代の頃と考えているもので、その周囲の小穴も同時期の可能性が高い。このことから、15号溝跡は区画溝としての機能を担っていたことが、小穴の分布から推測することができる。15号溝跡の東側では小穴は濃密に分布し、特に $B \cdot C \cdot 9 \sim 11$ グリッドに集中している。

遺構検出面は L IV a ~ d 上面である。平面形は円形及び楕円形が多いが、隅丸方形・隅丸長方形・不整形などを呈するものもあった。小穴の径及び長軸は18~92cmの範囲であるが、概ね25~



35cmのものが多い。深さは5~40cmであった。

堆積土については、ほとんどのものが砂礫を含む黒褐色砂質土の単層であった。小穴の多くは柱が抜かれた後に埋め戻されたものと推測しているが、柱痕が確認されたものもある。それは、A2-P3、A3-P1、B2-P4・5、 $B3-P1 \sim 4 \cdot 7 \cdot 11 \cdot 13 \cdot 14$ 、C11-P13などである。このなかで、C11-P13の断面図を図96に、完掘写真を写真48 fに示した。C11-P13の柱痕は底面まで達し、小穴状に掘り込まれている。さらに、 $A2 \cdot 3$ 、 $B2 \cdot 3$ グリッドに分布する小穴は、柱痕がみられるものが多い。

A2-P1、 $B15-P15\cdot35$ 、 $C10-P1\cdot68\cdot70$ 、 $C11-P9\cdot89$ 、 $C17-P10\cdot11\cdot31$ からは、根石を確認した。このなかで、A2-P1の断面図を図99に、全景写真を写真48gに示した。 ℓ 1の上面に長さ48cmの礫が置かれていた。

B 16 - P 5、C 10 - P 67、C 12 - P 11、C 17 - P 57・74からは古銭が出土した。このなかでも、C 10 - P 67からは底面から古銭が出土しているので、埋納などの行為がうかがわれる。その出土状況写真を写真48 e に示した。さらに、C 17 - P 57からは古銭 3 枚とかわらけが出土している。なお、B 9 - P 1、C 10 - P 11・68からは焼けた土壁が出土している。

遺 物(図100·101、写真60)

小穴のなかで、遺物が出土したのは69基である。そのなかでも、遺物が出土した小穴が多いグリッドは、次のとおりである。B12グリッドが6基、C10グリッドが6基、C11グリッドが10基、C12グリッドが8基、C17グリッドが7基である。調査区中央部の東側と調査区南東部

図91 小穴分割図

の区域において、遺物が出土した小穴が分布している。

小穴から出土した遺物は土師器63点、かわらけ20点、陶器9点、青磁1点、縄文土器3点、石製品1点、鉄製品16点、古銭10点、土壁9点、鉄滓2点である。

図 $100-1\sim7$ はかわらけで、 $1\cdot4$ は皿で、 $2\cdot3\cdot5\sim7$ は小皿である。 $1\sim4$ は手づくね成形、 $5\sim7$ はロクロ成形によるもので、底部外面に回転糸切り痕がみられる。なお、1 の内外面

表6 小穴一覧(1)

A 2 A 3 A 4 A 14	1 2 3 1 2 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8	精円形 隅丸方形 長方形 円形 精円形 精円形 精円形 精円形 精円形	長軸×短軸 (cm) 66×50 50×48 66×21 57×48 28 35×28 45×39 31×26 25	深さ (cm) 20 24 21 - - - 18	堆積土 ※ - - -	備 考 根石 ※図99参照 3号祭祀跡→P2、土師器・鉄滓 柱痕	グリッド B 6	P番号 5 6	平面形 円形 円形	長軸×短軸 (cm) 32 42	深さ (cm) 35 33	堆積土 - -	備考
A 3	2 3 1 2 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8	隅丸方形 格円形 長方形 円形 楕円形 構円方形 円形 楕円形 楕円形	50×48 66×21 57×48 28 35×28 45×39 31×26	24 21 - -	- - -	3号祭祀跡→P2、土師器·鉄滓	В 6						
A 3	3 1 2 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8	楕円形 長方形 円形 楕円形 橋丸方形 円形形 楕円形 楕円形	66×21 57×48 28 35×28 45×39 31×26	21 - - -	-			6	円形	42	33	_	
A 4	1 2 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8	長方形 円形 楕円形 構用方形 円形 楕円形 楕円形 楕円形	57×48 28 35×28 45×39 31×26	- -	-	柱痕							
A 4	2 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8	円形 楕円形 構円形 隅丸方形 円形 楕円形 楕円形	28 35×28 45×39 31×26	-		Line plan		1	円形	49	28	A 2	鉄製品
	1 1 2 3 4 5 6 7 8	楕円形 楕円形 隅丸方形 円形 楕円形 楕円形	35×28 45×39 31×26	-		柱痕 SB06と重複		2	隅丸方形 円形	54×50 32	10	A 2 A 3	
	1 1 2 3 4 5 6 7 8	精円形 隅丸方形 円形 精円形 精円形 精円形	45×39 31×26	18	-	5 0000 至夜		4	円形	52	12	A 4	
	2 3 4 5 6 7 8	円形 楕円形 楕円形			-			5	円形	25	21	A 1	P 5 → S D17
	3 4 5 6 7 8	楕円形 楕円形 楕円形	25	-	-	SK107と重複、土師器		6	円形	53	12	A 4	
	4 5 6 7 8	楕円形 楕円形		-	-	土師器		7	円形	26	7	A 2	
	5 6 7 8	楕円形	30×24 20×17	8 14	A 2	S I 08 · P 30→ P 3、陶器	В 7	8	円形 楕円形	43 32×30	5	A 1 A 2	
	6 7 8		26×19	8	A 2			10	楕円形	32 × 30 33 × 27	5	A 2	
	8	楕円形	28×26	15	A 2			11	円形	31	20	A 2	
		円形	28	12	A 2			12	円形	22	16	A 2	
		円形	25	7	A 2			13	円形	26	10	A 2	
	9	楕円形	18×17	8	A 2			14	円形	27	23	A 1	
	10 11	円形円形	22 32	15 11	A 2 A 2			15 16	楕円形 円形	20×18 42	5	A 2 A 1	
	12	楕円形	65×45	27	-			1	楕円形	36×30	23	A 1	土師器
	13	円形	25	8	A 2			2	隅丸方形	31×30	17	A 2	S I 05→P 2
	14	楕円形	22×19	5	-			3	長方形	51×40	5	A 1	S I 05→P 3
	15	円形	46	9	A 1			4	隅丸方形	30×27	11	A 2	S I 05→P 4
	16 17	円形 梅田形	53 28×23	8	A 1	P 16→ P 17 P 16→ P 17		5	円形 隅丸方形	26 37×36	12	A 1	
A15	18	精円形 円形	22	10	-	L 10 - L 11		6 7	格円形	36×30	15 10	A 2 A 1	
	19	円形	28	12	-			8	楕円形	26×22	5	A 1	
	20	円形	21	8	-			9	楕円形	30×27	5	A 1	P 9 → P 10
	21	円形	27	10	-			10	円形	40	13	A 2	P 9 → P 10
	22	楕円形	27×22	6	A 1			11	円形	25	9	A 1	
	23 24	円形 円形	28 25	12 7	A 1			12 13	円形円形	36 29	10	A 1 A 1	
	25	楕円形	27×25	5	A 1			13	隅丸方形	27×23	10	A 1	
	26	楕円形	28×25	13	A 2		D.O	15	円形	27	15	A 2	
	27	円形	25	5	A 1		В8	16	楕円形	33×28	6	A 1	
	28	楕円形	29×24	7	A 2	P28→S I 08		17	楕円形	31×30	30	A 1	
	29	楕円形	31×24	10	-	C 100 - D00 - D0		18	円形	33	6	A 1	
	30	円形	58 26	30	A 2 A 2	S I 08→P30→P3 S I 08→P31		19 20	円形	20 50	8 5	A 1 A 1	
	32	円形	24	12	A 2	S I 08→P 32		21	円形	39	7	A 1	
	33	楕円形	32×27	21	A 2	S I 08→P33		22	円形	34	7	A 1	
	34	円形	19	7	A 2	S I 08→ P 34		23	円形	30	7	A 1	
	1	円形	25	-	-			24	楕円形	30×24	5	C 1	
A' 15	2	楕円形 円形	31×27 20	11 8	A 2 A 2	S K 102→P 2		25 26	楕円形 楕円形	22×16 32×25	15 5	A 1 A 2	
A 13	4	円形	20	15	A 2			27	円形	30	7	A 1	
	5	円形	18	7	A 2			28	円形	29	5	C 1	
	1	楕円形	58×53	36	-			29	楕円形	24×22	10	A 2	
	2	楕円形	36×32	-	-			30	円形	36	15	A 2	C8P6→P30
D O	3	楕円形 楕円形	44×34	25	-	P 3 → P 4		1 2	円形	22	10	A 4	P 1 → P 2、土壁 C D 04 B 1 → B 2 + 無器
В 2	4 5	精円形 楕円形	42×30 36×32	_	_	P 3 → P 4 、柱痕 柱痕		3	円形 円形	30 40	22 25	A 2 A 4	S D04P 1 → P 2、土師器 P 3 → P 4
	6	円形	35	25	_	2号畑跡と重複		4	楕円形	31×28	21	A 4	P 3→P 4
	7	円形	22	-	-			5	円形	34	12	A 4	S I 05→ P 5
	1	円形	45	-	-	柱痕		6	円形	31	19	A 2	
	2	楕円形	36×25	_	-	柱痕		7	楕円形	38×30	12	A 1	0.105 . D.0
	3	隅丸方形 円形	60×50 42	_	_	柱痕		8	楕円形 円形	31×28 30	6	A 1 A 2	S I 05→P 8 P 9→S B 04
	5	円形	42	_	_	任根 SB05と重複		10	精円形	36×32	10	A 4	P 10→S B04
	6	長方形	42×38	-	-	SB05と重複	В 9	11	円形	23	6	C 1	
	7	楕円形	33×24	-	-	SB06と重複、柱痕		12	円形	30	8	A 2	
В3	8	楕円形	57×45	_	-			13	円形	42	15	A 2	S B 04 · P 14 → P 13
_ 0	9	円形	32	-	-	SB06と重複 SB06と重複		14	不整形	38× -	15	A 2	P14→S B04 · P13
	10 11	楕円形 隅丸方形	55×42 40×34	_	_	SB06と重複 柱痕		15 16	円形	18× - 30	5 20	A 2 A 2	P 15→P 16 · P 17 P 15→P 16
	12	円形	32	_	_	2号畑跡→P12		17	円形	19	10	C 1	P 15→P 16 · P 17
	13	楕円形	40×38	-	-	2号畑跡→P13、柱痕		18	円形	30	10	A 1	
	14	楕円形	35×28	-	-	2号畑跡→P14、柱痕		19	円形	29	7	A 1	
	15	円形	25	-	-			20	楕円形	36×30	10	C 1	S K74→ P20
	16	隅丸方形	32×28	-	_			21	円形	32	12	A 1	
B 4 B 5	1	隅丸方形 円形	37×30 42	27	_	柱痕			【堆積土			、土質	・含有物
	1	円形	40	24	-	P1→S I06						褐色砂岩	
В 6	2	楕円形	35×32	10	-							褐色土	2…炭化物
D 0	3	楕円形	43×30	8	-					(ン…咱	褐色土	3…砂礫・炭化物 4…焼土
	4	円形	30	27	-								r //u

表7 小穴一覧(2)

	· 1	\冗一!												
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	等	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	22	円形	36	15	A 2	SB04と重複			33	円形	72	15	A 2	S K 67→ P 33
	23	円形	32	6	A 1	SB04と重複			34	円形	45	24	A 4	
	24	楕円形	32×25	15	A 1	SB04と重複			35	方形	92×-	15	A 2	一部調査区外
	25 26	円形 楕円形	51 35×30	16 15	A 2 A 2	SB04と重複 SB04と重複			36 37	円形	32 34×34	15 18	A 2 A 2	
	27	精円形 楕円形	52×42	23	A 2	SB04と重複 SB04と重複			38	隅丸方形 楕円形	24×20	15	A 2	
	28	円形	34	13	A 1	SB04と重複			39	円形	24	20	A 2	
	29	隅丸方形	30×28	15	A 2	SB04と重複			40	円形	25	10	C 1	
	30	円形	27	15	A 1	SB04と重複			41	隅丸方形	38×38	10	A 2	
	31	円形	21	15	A 2	SB04と重複			42	楕円形	35×32	10	C 1	S K71→P42
	32	楕円形	92×54	15	A 1	SB04と重複			43	精円形	28×22	10	A 4	
	33 34	円形円形	26 33	7 20	A 1 A 1	SB04と重複 SB04と重複			44 45	精円形 円形	38×35 30	10 23	A 4 A 4	
	35	円形	30	20	A 1	3 1046 里夜			46	円形	20	11	A 1	
	36	円形	42	25	A 1	P 36→ P 37			47	円形	30	18	A 4	S B03と重複
	37	円形	30	27	A 2	P 36→ P 37			48	円形	25	16	A 1	SB03と重複
	38	円形	26	23	A 1				49	楕円形	32×28	8	A 2	SB03と重複
	39	円形	30	5	A 2	S K 70→ P 39			50	円形	36	23	A 4	SB03と重複
	40	円形	45	14	A 2	S D 04 · 10→ P 4	40		51	円形	26	25	A 1	S B 03・04と重複
	41 42	円形	35 30	20	A 2 A 1	SB04と重複			52	精円形 特円形	28×25	23	A 2	SB03・04と重複 SB04ト手物
В9	43	円形円形	45	30	A 1	S D10→ P42 S D10→ P43→1	P49	B10	53 54	格円形 円形	26×24 20	5	A 1 A 2	SB04と重複 SB04と重複
	44	楕円形	57×50	28	A 2	S D 10 → P 44	. 10		55	円形	25	23	A 2	SB04と重複 SB04と重複
	45	円形	20	10	A 1	S D 10 → P 45			56	円形	24	15	A 1	SB03・04と重複
	46	楕円形	42×35	10	A 4				57	円形	26	10	A 1	SB03・04と重複
	47	円形	32	24	A 2				58	円形	30	13	A 2	P58→S B03
	48	楕円形	30×24	40	A 2				59	不整形	45×45	12	A 2	SB04と重複、C59→P60→P61
	49	円形	32	20	A 2	SB04と重複			60	楕円形	38×30	15	A 2	S B04と重複、P59→P60→P61
	50	楕円形	38×32	26	A 2 A 2	SB04と重複 CB04ト重複			61 62	楕円形	42×38	20	A 2	S B 04と重複、P 59→P 60→P 61
	51 52	円形円形	30 32	18	A 2	SB04と重複 SB04と重複			63	円形円形	25 35	20	A 1 A 1	SB04と重複 SB04と重複
	53	円形	36	8	A 2	SB04と重複 SB04と重複			64	円形	32	15	C 1	SB04と重複 SB04と重複
	54	不整形	57×50	18	A 2	SB04と重複、I	P 55→ P 54		65	不整形	20×16	9	A 4	S B04と重複
	55 56	楕円形	44×38	8	A 1	SB04と重複、I	P 55→ P 54		66	円形	30	10	A 4	
	56	円形	47	18	C 1				67	不整形	48×36	25	C 1	SK71→P67
	57	楕円形	28×25	15	A 1				68	円形	40	13	C 1	
	58	円形	25	8	A 4				69	精円形	60×41	33	C 1	
	59 60	円形円形	47 22	15 13	A 1 A 1				70 71	隅丸方形 不整形	40×35 66×55	10 20	C 1 A 1	SB04と重複、P71→B9P63
	61	円形	50	11	C 1				72	円形	32	30	A 4	SB03と重複 SB03と重複
	62	円形	30	15	A 1				73	楕円形	46×42	-	-	S B 04と重複
	63	不整形	55×50	22	A 2	SB04と重複、BI	10P71→P63		74	楕円形	42×40	30	A 2	SB03と重複
	1	楕円形	55×38	28	A 4	SB03と重複、P2→			1	円形	28	7	A 1	P 2 → P 1 、鉄製品
	2	楕円形	34×26	15	A 1	SB03と重複、F	P2→P1		2	楕円形	54×44	10	A 1	P 2 → P 1
	3	隅丸方形	52×50	17	A 1	SB03と重複			3	隅丸方形	34×32	12	A 2	
	4 5	楕円形 楕円形	28×20 32×28	15 12	A 2 A 2	SB03と重複 SB03→P5			4 5	円形 隅丸方形	30 32×30	10	A 1 A 2	
	6	楕円形	32×28	9	A 1	3 103 - 1 3			6	隅丸方形	38×36	20	A 4	
	7	楕円形	40×36	14	A 2				7	楕円形	34×30	26	A 1	
	8	円形	34	16	A 2	P8→P9			8	楕円形	26×25	17	A 2	
	9	楕円形	40×30	12	A 2	P8→P9			9	楕円形	30×28	10	A 1	
	10	楕円形	24×20	18	A 4	P 10→ P 11→ S I	K 62		10	精円形	28×26	10	A 1	
	11	楕円形	84×66	15	A 4	P10→P11→C10	P 12→ S K 62		11 12	隅丸方形 楕円形	42×38 48×40	18 12	A 2 A 1	
	12	楕円形	48×45	15	A 4				13	円形	25	12	A 1	
	13	楕円形	32×27	15	A 4				14	楕円形	55×45	15	A 2	
	14	円形	30	15	A 4				15	円形	40	35	A 1	
	15	不整形	40×30	13	A 4				16	円形	52	15	A 4	
B10	16	楕円形	36×30	12	A 1			B11	17	楕円形	52×41	15	A 1	
	17	円形	42	5	A 1	C 1/20 - D10			18	円形	27	10	A 2	P19→P18
	18 19	楕円形 円形	30×25 34	7	A 1 A 1	S K 69→ P 18 P 19→ P 20			19 20	円形 不整形	32 25×20	5 25	A 1 A 2	P 19→ P 18 P 21 · 22→ P 20
	20	円形	35	15	A 1	P 19→ P 20 P 19→ P 20			20	円形	28	25	A 2	P21→P20 P21→P20
	21	円形	48	4	A 1	110 120			22	楕円形	28×20	15	A 2	P22→P20
	22	円形	44	15	A 2				23	円形	30	15	A 1	
	23	楕円形	30×25	10	A 1				24	円形	30	20	A 2	
	24	楕円形	32×32	10	A 1				25	不整形	26×22	10	A 2	
	25	不整形	44×36	9	A 1				26	円形	54	26	A 2	
	26	精円形 四カカ形	30×26	12	A 1				27	精円形	56×40	22	A 1	
	27 28	隅丸方形 楕円形	22×18 34×30	8	A 1 A 2				28 29	楕円形 楕円形	32×28 28×26	10	A 1 A 1	
	29	精円形 精円形	30×28	12	A 1	P 29→ P 30			30	楕円形	26×22	15	A 1	
	30	円形	36	15	C 1	P 29→ P 30			31	楕円形	48×35	20	A 1	
	31	楕円形	46×34	8	A 1				32	楕円形	45×36	16	A 1	
	32	楕円形	50×40	10	A 1			!	33	楕円形	55×50	26	A 1	

表8 小穴一覧(3)

		\											
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	34	円形	30	18	A 2			14	円形	25	10	A 1	
	35	楕円形	32×30	15	A 1			15	円形	22	10	A 1	
	36	楕円形	30×25	13	A 1			16	楕円形	29×25	14	A 1	
	37	楕円形	25×20	13	A 1			17	円形	16	10	A 1	
	38	円形	44	25	A 1			18	円形	31	10	A 4	
	39	楕円形	26×21	10	A 1			19	円形	23	20	A 1	
	40 41	円形 不整形	25 46×31	15 26	A 2 A 1			20 21	精円形 円形	43×30 28	10 22	A 1 A 4	
	42	楕円形	30×22	20	A 2			22	楕円形	44×27	5	A 1	
	43	円形	33	18	A 4			23	楕円形	38×22	5	A 1	
	44	楕円形	30×28	15	A 2			24	円形	24	10	A 4	
	45	円形	20	12	A 1			25	楕円形	49×35	18	A 1	
	46	楕円形	36×30	20	A 2	P 47→ P 46		26	楕円形	50×33	20	A 4	
	47	楕円形	28×22	32	A 2	P 47→ P 46		27	円形	18	25	A 1	
	48	隅丸方形	34×16	15	A 1			28	楕円形	34×28	20	A 1	
	49 50	方形 円形	26×25 44	15 23	A 1 A 2	S E 01→P 50		29 30	隅丸長方形 円形	49×31 21	20	A 4 B	
	51	円形	28	24	A 1	2 E01→1 20		31	円形	21	13	В	
	52	円形	26	15	A 1			32	楕円形	27×20	10	В	
	53	円形	32	12	A 1			33	楕円形	23×17	19	В	
	54	円形	38	25	A 1			34	円形	36	15	A 1	P34→P1
	55	円形	25	10	A 1			35	円形	25	30	A 1	S D03→P35
	56	円形	30	15	A 1			36	楕円形	48×29	30	A 1	S D03→P36
	57	楕円形	32×28	20	A 1			37	円形	31	12	С	
	58	精円形 mm:	50×38	10	A 1			38	円形	30	14	A 1	
	59 60	円形 楕円形	40 30×20	15 10	A 1 A 1	P 60→ P 61		39 40	円形円形	18 40	5 12	A 4 A 1	P 40→ P 41
	61	楕円形	34×30	10	A 1	P 60→ P 61		41	円形	31	20	A 1	P40→P41
	62	楕円形	38×30	35	A 1	1 00 1 01		42	円形	24	10	A 2	1 10 1 11
	63	楕円形	40×34	10	A 1		B12	43	円形	18	20	A 2	
В11	64	楕円形	32×28	18	A 1			44	円形	27	10	С	
	65	楕円形	37×29	18	A 1	S K51→P65		45	楕円形	44×39	40	A 1	
	66	隅丸方形	50×35	20	A 2	S K51→P66		46	円形	33	12	С	
	67	円形	40	23	A 1			47	円形	32	30	A 4	
	68 69	円形	20 36	10 20	A 1			48 49	隅丸方形 円形	80×71 21	25 10	A 2	P48→P49・P50・P51 P48→P49、かわらけ
	70	格円形	35×20	15	A 1 A 1			50	円形	25	20	A 1 A 1	P48→P50
	71	円形	50	15	A 1	C 11 P 62→ P 71		51	楕円形	27×24	20	A 1	P48 · P52→P51
	72	楕円形	45×42	23	A 2			52	円形	27	17	A 1	P 52→ P 51
	73	円形	35	10	A 1			53	円形	27	30	A 1	
	74	楕円形	30×26	15	A 2			54	円形	28	10	A 4	
	75	楕円形	30×24	10	A 1			55	隅丸長方形	55×38	30	A 4	
	76	隅丸方形	30×26	9	A 1			56	円形	33	20	A 4	
	77 78	精円形 隅丸方形	26×24 44×34	18	A 1 A 2	P78→P79		57 58	楕円形 楕円形	34×29 56×45	20	A 1 B	
	79	円形	34	15	A 2	P78→P79		59	楕円形	45×39	20	A 1	P 59→ P 60
	80	円形	22	13	A 1	110 110		60	楕円形	41×36	20	A 1	P 59→ P 60
	81	不整形	40×34	25	A 2	P 81→ P 82		61	円形	32	15	A 1	
	82	円形	36	25	A 1	P 81→ P 82		62	円形	35	20	A 1	
	83	円形	30	15	C 1			63	楕円形	28×25	10	A 4	P 63→ P 64
	84	楕円形	38×26	15	A 1	P 84→ P 85		64	楕円形	50×45	40	A 1	P 63→ P 64
	85 86	楕円形 楕円形	32×20 30×26	15 15	A 1 A 1	P 84→ P 85		65 66	円形円形	32 26	10	A 4 A 4	
	87	不整形	30 × 26 46 × 44	25	A 1			67	円形	29	20	A 1	
	88	楕円形	44×40	15	A 1	P 88→ P 89		68	隅丸方形	23×21	16	A 1	
	89	円形	46	30	A 1	P 88→ P 89		69	円形	22	10	A 1	
	90	円形	42	30	A 4			70	楕円形	40×34	24	A 1	
	91	円形	30	12	C 1			71	円形	26	8	A 1	
	92	円形	32	15	A 1			72	楕円形	29×24	16	A 1	D 0 . D 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
	93 94	円形 楕円形	28 28×22	5 5	A 1 A 1			1 2	円形 楕円形	31 57×41	15	A 1 A 1	P 2 → P 1 、陶器 P 2 → P 1
	1	精円形 精円形	28 × 22 47 × 38	34	A 1	P34→P1、鉄製品		3	円形	25	15 10	A I	P 2 → P 1 S B 01 と重複
	2	楕円形	50×31	10	A 1	S I 01→P 2、土師器		4	楕円形	65×48	20	A 2	SB01と重複 SB01と重複
	3	円形	31	10	A 4	S I 01→P 3、土師器・鉄製品		5	円形	25	15	A 1	S B01と重複
	4	楕円形	28×20	10	A 1	S I 01→ P 4 、土師器・鉄製品		6	楕円形	24×19	7	A 1	S B01→P6
	5	楕円形	36×28	10	A 1	S I 01→P 5		7	円形	20	14	A 1	
						土師器・鉄製品	B13	8	楕円形	29×22	8	A 1	
B12	6	楕円形	33×22	30	A 1	S I 01→P 6		9	楕円形	40×35	15	A 2	D10 - C 1/20
	7	円形 楕円形	32 32×21	20	A 1 A 1	S I 01→P 7 S I 01		10 11	精円形 円形	65×44 21	15	A 2 A 2	P 10→ S K 39 P 11→ S K 39
	9	円形	23	8	A 4	S I 01		12	格円形	30×25	18	A 1	111 0100
	10	円形	21	8	A 1			13	円形	31	20	A 1	P13→P15
	11	円形	28	30	A 4			14	楕円形	35×27	17	A 1	P14→P15·16
	12	楕円形	50×33	-	A 1			15	円形	23	20	A 1	P 13 · 14→ P 15
	13	隅丸方形	39×33	8	A 4			16	円形	21	12	A 1	P 14→ P 16

表9 小穴一覧(4)

表			覧 (4) _{長軸×短軸}	深さ						長軸×短軸	深さ		
グリッド	P番号		(cm)	(cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号		(cm)	(cm)	堆積土	備考
	17 18	円形	20	9	A 1			12 13	楕円形 円形	37×31 29	23	A 2 A 2	
	19	格円形	29×21	14	A 1 A 2			13	円形	27	10	A 2	
	20	楕円形	32×23	22	A 1			15	円形	31	10	A 1	
	21	円形	29	15	A 2			16	楕円形	32×28	10	A 1	
	22	楕円形	49×44	10	A 1			17	楕円形	68×49	18	A 1	
	23 24	精円形 円形	24×19 20	24	A 1 A 1			18 19	円形	44 31	15 15	A 2 A 2	P 18→ P 19→ S K33 P 18→ P 19
	25	円形	25	15	A 1	P 25→ P 26		20	円形	31	10	A 4	1 10 71 19
	26	円形	28	15	A 1	P 25→ P 26		21	円形	25	6	A 2	P 21→ S K33
	27	円形	26	11	A 1			22	楕円形	35×30	8	-	
	28	円形	22	8	A 1	D00 D00 D01		23	楕円形	33×23	15	-	P 23→ P 24
	29 30	隅丸長方形 円形	87×62 20	15	A 2 A 1	$P29 \rightarrow P30 \rightarrow P31$ $P29 \rightarrow P30 \rightarrow P31$	B14	24 25	楕円形 楕円形	42×33 96×79	14 15	A 1	P 23→ P 24 P 25→ P 26→ S K33
	31	楕円形	24×19	20	A 1	P29→P30→P31		26	円形	27	10	A 1	P 25→ P 26→ S K33
	32	円形	32	20	A 1	P 32→ P 33		27	楕円形	30×22	12	A 4	
	33	楕円形	33×29	10	A 1	P 32→ P 33		28	円形	54	12	A 2	P 29→ P 28→ S K 34
	34	円形	32	25	A 1			29	楕円形	36×33	6	A 2	P 29→ P 28
	35 36	円形	31 25	16	A 2 A 1			30	楕円形 円形	65×39 32	10	C 1	
	37	円形	27	14	A 2			32	円形	36	10	A 1	
	38	楕円形	28×24	16	A 1			33	隅丸方形	81×66	10	A 2	S D02→ P33
	39	円形	22	10	A 1			34	楕円形	50×43	8	A 1	S D02→P34→P35
	40	円形 梅田形	26	- 20				35	円形	31	12	A 1	S D02→ P34→ P35
	41 42	楕円形 楕円形	31 × 23 40 × 30	20	A 1 A 1			36 37	円形	20	8	A 2 A 4	P 37→ P 36→ S K 98 P 37→ P 36
	43	楕円形	27×22	5	A 1			1	円形	32	18	A 2	P 55→P 1、土師器
	44	円形	24	5	A 1			2	円形	23	15	A 2	
	45	楕円形	25×20	12	А3			3	楕円形	32×28	-	-	P 4 · P 5 → P 3
	46 47	円形円形	28 23	20	A 1 A 1			4 5	円形 楕円形	29 53×41	17	A4	P 4 → P 3 P 5 → P 3
	48	楕円形	43×30	10	A 1			6	円形	39	-	C C	F 5 - F 5
B13	49	円形	23	10	A 1			7	円形	29	-	A 2	
	50	楕円形	51×32	25	A 1			8	楕円形	28×24	-	-	
	51	楕円形	29×23	20	A 1			9	円形	35	-	A 4	
	52 53	精円形 楕円形	30×26 33×27	15 27	A 1 A 2			10 11	円形 楕円形	47 25×20	10	A 2 A 2	
	54	隅丸長方形	40×26	30	A 2			12	円形	16	6	A 2	C15P1→P12
	55	楕円形	27×22	5	A 1			13	楕円形	28×25	7	A 2	P 13→ S K 103
	56	隅丸長方形	34×27	15	A 1			14	円形	16	6	A 1	
	57	隅丸長方形	39×27	30	A 1			15	円形	39	8	A 1	P16→P15、根石
	58 59	円形円形	29 33	25 35	A 1 A 2	P59→P60		16 17	円形 楕円形	29 49×47	12	A 2 A 1	P 16→ P 15
	60	楕円形	33×32	30	A 2	P 59→ P 60		18	円形	43	-	-	
	61	円形	28	5	A 1			19	隅丸方形	24×21	9	A 4	
	62	楕円形	34×26	15	A 1	P 62→ P 63		20	楕円形	31×24	-	-	
	63 64	隅丸方形 円形	30×28 38	15 15	A 1 A 1	P 62→ P 63		21 22	円形	25 25	_	-	
	65	円形	28	14	A 1	SB01と重複、SK38→P65		23	円形	31	_	_	
	66	楕円形	49×38	12	A 1			24	円形	36	12	A 2	
	67	楕円形	55×41	15	A 1		B15	25	円形	37	10	A 2	S I 08→ P 25
	68 69	円形円形	32 21	30 20	A 1 A 1			26 27	精円形 円形	29×26 37	14 10	A 2 A 2	S I 08→ P 26 S I 08→ P 27
	70	円形	21	30	A 1								
	71	円形	30	20	A 1	P71→P79		28	楕円形	27×25	9	A 2	S I 08→ P 30→ P 28→ P 29
	72	楕円形	29×25	30	С	P72→P73		29	楕円形	35×32	9	A 2	S I 08→ P 28 · 30 · 31→ P 29
	73	楕円形	35×28	40	A 1	P72→P73		25	181 1/1/	5562			
	74 75	円形 楕円形	41 25×20	40	A 1 A 1			30	楕円形	37×27	15	A 2	S I 08→P31→P30→ P28 · P29
	76	楕円形	25×20	19	A 1				Later From root	00	,		
	77	楕円形	43×31	20	A 1			31	楕円形	39×33	10	A 2	S I 08→ P31→ P29 · P30
	78	円形	26	15	A 4	DE1 DE0		32	円形	30	15	A 4	S I 08と重複
	79 80	精円形 円形	31×26 29	20	A 2	P71→P79		33 34	円形	27 37	10	A 4	P34→S I 08
	1	格円形	77×68	13	A 4 A 2	SK33→P1、縄文土器・土師器		35	円形	46	5	_	根石
	2	楕円形	58×45	18	-	The same in the first the		36	楕円形	41×35	14	A 2	
	3	楕円形	59×56	20	-	P 3 → S K37		37	楕円形	34×29	14	A 2	
	4	円形	50	24	_			38	楕円形 ITIK	30×26	10	A 2	
B14	5 6	円形 楕円形	53 29×23	15	A 2			39 40	円形 楕円形	27 31×26	7	A 2 A 2	
211	7	楕円形	37×28	11	A 1	P 7 → B 15 P 52		41	楕円形	34×28	9	A 2	
	8	円形	110× -	15	A 1	半分調査区外		42	楕円形	28×26	12	A 1	
	9	楕円形	81 × 42	11	A 2			43	楕円形	38×34	20	A 2	
	10	楕円形 不敷形	29×26	8	A 1			44	円形	27	10	A 2	
	11	不整形	37×32	14	A 2			45	円形	42	9	A 4	l

表10 小穴一覧(5)

表1	0 ,	-/ (覧(5)	/									
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	46	円形	21	9	A 2			3	円形	30	33	A 2	
	47	円形	29	10	A 1			4	楕円形	28×20	13	A 2	
	48	円形	20	8	A 2			5	楕円形	25×22	12	A 2	
	49 50	楕円形 円形	24×22 33	10	A 2 A 2	P 50→ S K77		6 7	楕円形 円形	88×70 26	15 15	A 1 A 2	P 6 → S K75
	51	楕円形	32×24	7	A 1	F 50→ 5 K 11	C 7	8	円形	30	17	A 1	
	52	円形	31	5	A 1	B14P 7→P52		9	円形	70	15	A 2	
	53	円形	27	9	A 4			10	楕円形	40×32	18	A 1	
	54	円形	45	20	A 2	P 55 · 57→ P 54		11	円形	30	8	A 1	
	55	楕円形	32×28	15	A 2	P 1 → P 55 → P 54		12	隅丸方形	26×24	9	C 2	
	56 57	円形	41 25	22 20	A 2	P 57→ P 54		1 2	楕円形 円形	32×28 33	10 15	A 1 A 1	
	58	楕円形	31×27	17	A 1	1 37 - 1 34		3	楕円形	56×43	23	A 2	
D.15	59	円形	26	17	A 1			4	楕円形	48×-	30	A 4	P 4 → S I 04
B15	60	楕円形	31×29	-	A 2			5	円形	31	6	A 1	
	61	円形	28	-	A 2			6	円形	48	11	A 1	P 6 → B 8 P 30
	62	円形	42	12	A 2			7	隅丸方形	34×34	23	A 2	P 7 → S I 04
	63	楕円形	33×28	7	A 2			8	円形	30	10	A 1	P 8 → S I 04
	64 65	円形	24 25	15 15	A 2 A 4			10	円形	24 51	15 15	A 1 A 2	P 9 → S I 04
	66	円形	27	10	A 2			11	楕円形	40×38	15	A 2	
	67	円形	28	12	A 2		C 8	12	円形	30	26	A 2	
	68	円形	30	10	A 2			13	円形	38	20	A 1	
	69	楕円形	34×31	12	A 2			14	円形	34	15	A 1	
	70	楕円形	34 × 32	15	A 2	D70 . D71 . C 17.100		15	円形	29	15	C 1	
	71 72	楕円形 楕円形	32×26 37×32	14 12	A 2 A 4	P72→P71→S K103 P72→P71		16 17	楕円形 円形	32×30 30	10 20	C 1 A 1	
	73	楕円形	44×-	23	A 2	F 12→ F 11		18	楕円形	33×31	12	A 2	
	1	円形	40	16	A 1	陶器		19	楕円形	31×30	10	C 1	
	2	楕円形	40×26	24	A 1			20	円形	31	27	A 1	
	3	円形	35	12	A 2	P 8 → P 3		21	円形	31	8	A 1	
	4	楕円形	40×36	15	A 4	S K12→P 8 → P 4		22	楕円形	60×50	18	A 1	Irrae
	5 6	円形 楕円形	32 32×28	8 15	A 1	S K12→P 5、古銭 土師器		23	円形	31 62×56	20 42	A 2 A 2	根石 土師器
	7	精円形 精円形	56 × 46	30	A 1 A 3	工制的		2	隅丸方形 楕円形	62×56 48×42	14	A 4	上 即 份 P 2 → P 3 、 土 師 器
	8	円形	57	-	A 1	P 8 → P 3		3	円形	40	41	A 4	P 2 → P 3
	9	楕円形	38×32	10	A 1	C 6 P 1 → P 9		4	円形	25	40	A 2	-
B16	10	円形	30	11	-			5	円形	45	11	A 2	
	11	円形	30	-	-			6	楕円形	46×36	15	C 1	P 6 → S K72
	12	楕円形	28×26	_	-			7	円形	22	16	A 2	P 7 → S K72
	13 14	楕円形 楕円形	39×36 64×48	21	A 2 A 1	S K05→P14		8	隅丸長方形 楕円形	38×28 38×34	21 35	A 2 A 2	P 8 → S K72
	15	円形	39	10	A 1	3 103 -1 14		10	円形	30	40	A 2	
	16	楕円形	28×21	18	A 2			11	円形	18	20	A 2	
	17	円形	30	20	-	P17→P18		12	円形	35	55	A 2	
	18	円形	30	20	-	P17→P18		13	楕円形	52×38	25	A 1	
	19	円形	32	22	- 1	D 0 - D 1 - D01		14	円形	26	12	A 1	
	1 2	隅丸方形 円形	53×46 28	37 40	A 1 A 1	P 3 → P 1 → P21		15 16	隅丸方形 楕円形	35×30 28×25	42 6	A 2 A 1	P16→S K66
	3	不整形	30	-	A 1	P 3 → P 1 → P21		17	楕円形	26×20	6	A 2	P17→S K66
	4	円形	32	43	A 1			18	楕円形	28×24	10	A 1	
	5	円形	32	20	A 1	かわらけ		19	楕円形	24×18	5	A 1	
	6	円形	32	12	A 1	P7→P6→P8、土師器		20	楕円形	34×30	23	A 1	P 20→ C 10 P 80
	7	円形	30	10	A 1	P 7 → P 6 → P 8	C 9	21	楕円形	24×18	25	A 1	
	8	隅丸方形 円形	41 × 41 22	18 15	-	$P 6 \cdot 10 \rightarrow P 8 \rightarrow P 9$ $P 10 \rightarrow P 8 \rightarrow P 9$		22 23	円形	28 24	15 25	A 1 A 1	P 23→ P 24
	10	楕円形	32× -	15	A 2	P10→P8→P9		24	円形	28	25	A 2	P 23→ P 24
	11	楕円形	35×28	13	-	110 10 10		25	隅丸方形	32×28	23	A 2	120 121
B17	12	隅丸方形	45×42	18	-			26	楕円形	32×30	25	A 2	
	13	楕円形	28×25	11	-	P 14→ P 13		27	円形	36	11	A 2	
	14	楕円形	30×25	10	-	P 14→ P 13		28	円形	35	35	A 2	
	15	円形	25	19	-			29	円形	30	40	A 2	
	16 17	楕円形 楕円形	36×34 30×20	17 12	-			30 31	円形 楕円形	30 40×29	14 35	C 1	
	17	精円形 楕円形	30 × 20 35 × 30	12	_	P 19→ P 18		32	円形	40×29 24	35 8	A 4 A 2	P 32→ P 33
	19	楕円形	30×26	21	-	P 19 → P 18		33	隅丸長方形	40×31	37	A 4	P 32→P 33
	20	円形	44	34	A 1			34	楕円形	58×42	22	A 2	P 34→ P 35 · 37
	21	円形	45	-	-	P 3 → P 1 → P21、鉄製品		35	楕円形	48×35	13	A 1	P 34→ P 35
	22	円形	30	11	-			36	円形	36	9	A 2	
B18	1	楕円形	74×54	-	-	S I 09→P 1		37	円形	32	35	A 1	P 34→ P 37
0.0	1	円形四十七形	35	20	-			38	円形	32	16	A 2	
C 6	2 3	隅丸方形 楕円形	40×33 48×40	30 20	-			39 40	円形円形	24 34	17 14	A 4 A 1	
		1月口形							円形	34	10	A 1 A 2	
C 7		隅丸方形	30×28	3	A 1	P 1 → P 2		41					

表11 小穴一覧(6)

	1 /,	1./	覧(6)										
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	43	円形	38	15	A 2	S D 04→ P 43		51	楕円形	24×18	8	A 1	SB03と重複、P51→P50
	44	楕円形	60×44	25	C 1	S D 04→ P 44		52	不整形	64×54	25	A 1	P 52→ S B 03
	45	楕円形	98×54	45	A 4	P 45→ P 46		53	不整形	40×30	35	A 2	P 53→ P 54
	46	楕円形	50×42	25	A 2	P 45→ P 46		54	楕円形	34×32	22	A 2	P 55→ P 54
	47 48	隅丸方形 円形	72×64 30	12 23	A 2 A 4	S I 05→ P 47		55 5c	楕円形	28×25	35	A 1	SB03と重複、P55→P54 SB03と重複
	49	円形	36	18	A 2			56 57	精円形 隅丸方形	32×28 28×26	35 15	A 1 A 1	SB03と重複 SB03と重複
	50	円形	45	8	C 1			58	楕円形	38×33	22	A 1	SB03と重複、P59→P58
	51	円形	44	27	A 4			59	円形	24	10	A 1	SB03と重複、P59→P58
	52	不整形	54×48	30	A 4			60	楕円形	50×40	23	A 1	S B03と重複
	53	円形	56	9	A 4	P 54→ P 53		61	楕円形	38×30	25	A 1	SB03と重複
	54	円形	34	8	A 2	P 54→ P 53		62	円形	26	15	A 2	SB03と重複
C 9	55	楕円形	50×42	12	A 2			63	楕円形	50×40	37	A 4	SB03と重複、P63→SK68
	56	円形円形	33 25	20	A 2 A 4			64	楕円形	34×24	12	A 1	SB03と重複
	57 58	円形	26	21	A 4			65 66	楕円形 円形	60×44 48	12	A 2 A 2	P65→SB03・SK68 SB03と重複
	59	楕円形	50×42	14	A 1			67	円形	30	4	A 4	SB03と重複、古銭
	60	円形	46	20	A 2			68	不整形	52×48	28	A 1	SB03と重複、土師器、土壁、根石
	61	隅丸方形	56×48	24	A 2			69	不整形	40×37	31	A 4	P 69→ S B 03
	62	楕円形	38×-	25	A 2	半分調査区外	C 10	70	楕円形	36×32	7	A 2	根石
	63	円形	38	10	A 2		C 10	71	楕円形	18×14	8	A 2	
	64	楕円形	48×45	18	A 2	P 64→ P 65		72	楕円形	40×37	30	A 2	P72→P73
	65	円形	32	18	A 2	P 64→ P 65		73	楕円形	52×50	15	A 1	P72→P73→P90
	66 67	隅丸方形 楕円形	50×46 46×42	25	A 2 A 4			74 75	楕円形 楕円形	- × 34	18 21	A 2 A 1	$P90 \rightarrow P74 \rightarrow P75 \rightarrow P76$ $P74 \rightarrow P75 \rightarrow P76$
	1	円形	50	16	C 9	P 2 → P 1 、根石		76	隅丸方形	36×31 45×35	22	A 1 A 2	P74→P75→P76 P74→P75→P76
	2	円形	34	13	A 2	P 2 → P 1、土師器		77	円形	30	20	A 2	111.111.111
	3	不整形	60×50	31	A 2	SB03と重複		78	不整形	42×30	-	A 1	P 78→ P 79
	4	円形	30	25	A 1	SB02と重複、P4→P5、土師器		79	不整形	48×40	30	A 2	P78→P79、根石
	5	円形	30	30	A 1	SB02と重複、P4・6→P5		80	不整形	86×70	22	A 2	C9 P 20→ P 80
	6	楕円形	30×26	25	A 1	SB02と重複、P6→P5		81	円形	25	10	A 1	P81→P82→SK73
	7	楕円形	28×25	25	A 1	S B 02と重複		82	楕円形	44×34	30	A 4	P 81 → P 82 → S K 73
	8	円形	30	20	A 1	SB02と重複		83	円形	30	13	A 1	S K73→P83→S K72
	9	不整形 隅丸方形	56×47 52×48	10	A 1 A 1	P25→P9→P10→SB02, かわらけ P9→P10→SB02		84 85	円形 楕円形	28 40×36	10	A 1 C 1	SB03と重複 SB03と重複
	11	楕円形	46×40	26	A 4	S B02と重複、P9→P10、土壁		86	隅丸方形	30×26	10	C 1	3 日03 年 展
	12	円形	40	19	A 4	B10P11→P12		87	楕円形	38×30	12	A 2	P87→ P88
	13	円形	28	20	C 1			88	楕円形	- ×68	20	A 2	P87→P88
	14	円形	31	14	A 1			89	円形	34	14	A 2	
	15	円形	28	15	A 1	SB02と重複		90	楕円形	50×33	23	A 2	P73→ P90→ P74
	16	円形	24	15	A 1	SB02と重複、P17→P16		1	隅丸方形	80×65	8	A 1	土師器
	17 18	格円形	30×24 32×28	15 22	A 1 A 1	SB02と重複、P17→P16 P18→SK55		2	楕円形	30×26	10	A 2	
	19	楕円形 円形	22	-	A 1	SB02と重複、P19→SK61		3	円形	31	12	A 2 A 1	土師器
	20	不整形	44×40	10	A 1	SB03と重複、F15 SR01		5	円形	29	6	A 1	工一抽片即吐
	21	円形	38	25	A 1	鉄滓		6	楕円形	30×25	8	A 1	
	22	楕円形	24×19	10	A 2	SB02と重複		7	円形	28	22	A 1	P110→P7→SK45、土師器、鉄製品
	23	楕円形	40×37	33	A 4	SB02と重複		8	楕円形	30×25	15	A 1	
	24	楕円形	34×25	30	A 2	SB03と重複		9	隅丸長方形	42×35	20	A 1	根石、土師器
C10	25	楕円形	32×22	16	A 1	P 9 → S K61		10	楕円形	34×29	15	A 1	
	26 27	精円形 円形	24×18 40	17 35	A 1 A 4	SB02と重複 SB03と重複		11	円形	28	15	A 1	独制 旦
	28	格円形	32×28	12	A 4	0 2000 至夜		12 13	円形 円形	34 28	12 40	A 1 **	鉄製品 柱痕 ※図96参照
	29	楕円形	22×20	7	A 2			14	円形	28	13	A 1	
	30	楕円形	32×28	14	A 2			15	円形	32	18	A 1	
	31	楕円形	30×26	27	A 1	P31→S K56		16	楕円形	30×30	10	A 1	
	32	円形	24	27	A 1	P 32→ P 31		17	円形	24	12	A 1	
	33	円形	30	22	A 1	C D 00 1. 7-15	C11	18	円形	28	13	A 1	I AT III
	34	四形四九五形	34 36×30	26	A 4	SB03と重複 SB03と重複		19	楕円形 四形	48×31	35	A 1	土師器 P20→ P10
	35 36	隅丸方形 円形	36×30 30	18	A 1 A 1	SB03と単復 P37→P36→SB03		20 21	円形円形	25 20	25 21	A 1 A 1	P20→P19 鉄製品
	37	円形	26	6	A 2	P37→P36→S B03		22	不整形	38×35	28	A 1 A 2	大製品 土師器、陶器、かわらけ、鉄滓
	38	楕円形	32×28	22	A 1			23	楕円形	42×35	15	A 2	土師器、磁器
	39	楕円形	31×29	26	A 2			24	楕円形	35×28	15	A 2	P 56→ P 24、土師器
	40	円形	30	15	A 1	SB03と重複		25	楕円形	36×30	20	A 1	
	41	楕円形	28×24	28	A 1	SB03と重複、P42→P41		26	楕円形	25×22	12	A 1	
	42	円形	22	15	A 1	SB03と重複、P42→P41		27	楕円形	22×19	10	A 1	
	43	格円形 格円形	24×20	22	A 2	SB03と重複 SB03と重複 D45→D44		28	円形	34	15	A 1	
	44 45	楕円形 円形	40×34 28	40	A 1 A 1	SB03と重複、P45→P44 SB03と重複、P45→P44		29 30	楕円形 隅丸長方形	36×20 36×22	10 20	C 1 A 2	
	46	楕円形	40×34	13	C 1	SB03と重複、145・144		31	円形	46	30	C 1	
	47	楕円形	40×38	23	A 2	S B 03と重複		32	不整形	42×28	32	C 1	
	48	円形	28	35	A 2	P48→S B03		33	円形	30	5	A 1	
	49	楕円形	40×36	8	A 2			34	不整形	54×44	20	A 1	
	50	隅丸方形	30×24	22	A 1	SB03と重複、P51→P50		35	円形	24	8	A 1	

表12 小穴一覧 (7)

	2 /	11/	覧(7)										
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	36	楕円形	48×44	9	A 1			111	隅丸方形	28×20	16	A 1	P111→S K45
	37	楕円形	35 × 32	32	C 2		C11	112	円形	38	34	A 2	D110 D05
	38 39	円形	32 22	15 13	A 2 A 1			113 114	円形 楕円形	32 20×16	15	A 2	P113→P97
	40	円形	32	30	A 1			1	楕円形	58×49	20	D	土師器
	41	円形	30	30	A 1			2	楕円形	21×18	10	С	P 2→P20、かわらけ
	42	楕円形	30×25	10	A 1	P 42→ S K 49		3	円形	19	10	С	t Aus HH
	43	精円形 不敷形	34 × 32	15	A 1	S K46→ P44		4	円形	33	18	A 4	土師器
	44 45	不整形 楕円形	35 × 32 20 × -	30 15	A 1 A 1	P 45→ P 46		5 6	円形	29 29	20	A 1 A 3	鉄製品 陶器
	46	不整形	40×35	15	A 1	P 45→ P 46		7	円形	24	14	A 4	1-9 111
	47	不整形	48×36	30	A 2			8	円形	28	30	A 1	土師器
	48	楕円形	34×30	12	A 1			9	円形	40	25	A 1	土師器
	49	楕円形	35×28	17	A 1			10	楕円形	34×26	20	A 1	44.4-
	50 51	円形	28 22	23	C 2 A 1	P51→S K44		11 12	隅丸方形 円形	38×32 20	40	A 1 A 1	古銭 S K 26→ P 12
	52	楕円形	35 × 32	15	A 2	P 52→ S K44		13	楕円形	25×20	28	A 1	3 K20 · 1 12
	53	隅丸方形	36×30	35	A 1			14	円形	25	23	A 1	
	54	楕円形	46×41	21	A 1			15	円形	31	26	A 1	
	55	楕円形	42×40	15	A 1			16	楕円形	35×24	20	A 1	
	56	楕円形	22×-	23	A 1	P 56→ P 24		17	楕円形	35×27	20	A 1	
	57 58	隅丸方形 楕円形	32×32 24×20	28	A 1 A 1	P 57→ P 58 P 57→ P 58		18 19	楕円形 楕円形	49×33 50×40	20	B B	
	59	円形	30	15	A 1	1 01 -1 00		20	楕円形	26×13	12	D	P 2 → P 20
	60	円形	44	12	A 1			21	楕円形	62×49	20	С	
	61	楕円形	40×32	15	A 4	P 62→ P 61		22	楕円形	33×28	30	С	
	62	楕円形	40×32	20	A 1	P 62→ P 61		23	楕円形	30×25	30	D	
	63	楕円形	30×24	25	A 1			24	円形 佐田平	35	30	D	
	64 65	円形	24 22	20 15	A 1 A 1			25 26	精円形 円形	43×35 26	30	A 1 B	
	66	楕円形	27 × 22	10	A 1			27	円形	58	30	D	
	67	円形	22	10	A 1			28	円形	37	30	D	
	68	楕円形	28 × 24	12	A 2		C 12	29	楕円形	47×42	30	D	
	69	円形	33	15	A 1		0.12	30	円形	27	36	C	P30→P31
	70 71	楕円形 円形	26 × 24 26	9	A 2 A 1			31 32	精円形 楕円形	27×20 23×17	40	D C	P30 · 32→P31 P32→P31
	72	円形	20	8	A 1			33	円形	34	32	C	1 02 - 1 01
C11	73	円形	20	12	A 1			34	円形	31	9	C 1	
	74	円形	26	15	A 4			35	円形	23	30	D	
	75	不整形	52×38	17	A 4			36	不整形	56×43	40	D	
	76 77	不整形 楕円形	22×18 26×22	10 15	A 2 A 2			37 38	精円形 楕円形	51 × 35 40 × 32	20	C A 1	P38→P39
	78	楕円形	40×32	8	A 2			39	円形	20	16	A 1	P38→P39
	79	楕円形	24×22	17	A 2			40	円形	20	30	A 1	
	80	楕円形	34×32	17	A 1	SB02と重複		41	円形	17	10	A 1	
	81	楕円形	36×34	21	A 4	S B 02と重複		42	楕円形	31×25	10	A 3	
	82 83	楕円形 円形	24×18 24	7 18	A 4 A 1	SB02と重複 SB02と重複		43 44	円形 楕円形	21 34×28	10	A 4 A 1	
	84	円形	22	21	A 4	SB02と重複 SB02と重複		45	円形	27	8	C	
	85	円形	22	20	A 2	S B02と重複			隔丸長方形	33×23	24	А3	
	86	円形	22	20	A 2	SB02と重複		47	楕円形	29×25	24	A 4	P 47→ P 49
	87	楕円形	28 × 22	25	A 1	P 87→ P 88		48	円形	26	23	A 1	P 48→ P 49
	88	楕円形	32×28	12 12	A 2	P 87→ P 88		49	精円形 円形	32×24 22	12	A 1 C	P 47 · 48 · 56→ P 49
	89 90	精円形 円形	28 × 25 32	38	A 1 A 2	根石		50 51	円形	19	5 20	A 1	
	91	楕円形	32×26	7	A 1	P 91→ P 92→ S K 65		52	楕円形	26×21	20	A 2	
	92	円形	36	20	A 4	P 91→ P 92		53	隅丸方形	72×56	26	A 4	P 53→ P 54
	93	円形	24	11	A 2	P 93→ S K 65		54	楕円形	32×24	15	A 1	P 53→ P 54
	94	楕円形	42×38	35	A 1	P 94 → P 95		55	円形	21	20	A 2	D54 D40
	95 96	円形円形	23 36	10	A 4 A 2	P 94→ P 95→ S K 65 P 96→ S K 65		56 57	隅丸方形 楕円形	85×65 43×28	10 20	C A 1	P 56→ P 49 S I 01→ P 57
	97	不整形	70×62	55	A 1	P113→P97		58	円形	27	6	A 2	S I 01→P 58
	98	不整形	62×48	23	A 2	2 220 2 01		1	不整形	102×81	23	A 2	SB01と重複、土師器
	99	楕円形	52×48	23	A 2			2	円形	28	25	A 1	
	100	楕円形	30×30	20	A 2			3	円形	25	21	A 1	
	101	円形	28	12	A 2			4	円形	28	30	A 2	D.E C. T.00
	102	楕円形 円形	40×34 29	10 25	A 1 A 1			5 6	隔丸長方形 円形	55×39 30	20	A 1 A 1	P 5 → S I 03 P 6 → S I 03
	103	不整形	32×26	10	A 1		C 13	7	円形	35	23	A 1	10,310
	105	不整形	68×44	10	A 2			8	円形	22	10	A 2	
	106	円形	22	20	A 4			9	楕円形	31×25	8	A 1	
	107	楕円形	32×28	20	A 1			10	円形	21	18	A 1	
		円形	28	5	A 1	P 108→ P 109		11	円形	27	15	A 1	
	108 109	楕円形	38×30	12	A 2	P 108→ P 109		12	隔丸長方形	64×39	10	A 1	SB01と重複、P12→SK38

表13 小穴一覧(8)

表1	<u>3</u> /.	八八一	覧(8.											
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備	考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	14	楕円形	83×66	22	A 2	SB01と重複、	P 14→ P 15		50	円形	26	10	A 1	
	15	円形	31	17	A 1	SB01と重複、	P 14→ P 15		51	楕円形	34×26	15	A 1	
	16	円形	35	15	A 1	S B01と重複			52	隅丸方形	87×-	12	C 2	P 52→ S D 02→ P 53 · 54
	17	楕円形	26×22	6	A 1	SB01と重複			53	円形	26	10	A 1	P 52→ S D 02→ P 53
	18 19	円形	27 24	8	A 1 A 1	SB01と重複 P19→SB01			54 55	円形	30 31	8 15	A 1 A 1	P 52→ S D 02→ P 54
	20	1 1)12	24	-1	Ti I	欠番			56	円形	31	10	A 1	
	21	円形	23	8	A 1	SB01と重複		C 14	57	円形	37	10	A 1	S D02→P57
	22	円形	28	12	A 1	S B01と重複			58	円形	29	8	A 4	S D02→P58
	23	円形	28	22	A 1				59	楕円形	35×31	7	A 2	
	24 25	円形	23	15 18	A 1 A 2				60	楕円形 円形	36×28 42	10 25	C A 1	
	26	円形	32	25	A 1				62	円形	27	20	C 1	
C 13	27	楕円形	27×23	20	A 1				63	円形	34	10	C 1	
	28	楕円形	25×18	15	A 2				1	円形	45	-	A 4	陶器
	29	楕円形	31×26	17	A 1	P 29→ P 30			2	円形	29	-	A 1	
	30	円形	27	13	A 1	P 29→ P 30			3	楕円形	28×24	_	A 1	P 3 → P 42→ S D 02
	31 32	円形円形	20 27	21	A 1 A 1				4 5	楕円形 円形	58×51 29	_	C	
	33	楕円形	27×18	15	A 1				6	楕円形	45×33	_	A 1	
	34	楕円形	23×15	15	A 1				7	楕円形	68×64	-	В	P 7 → P 46
	35	円形	23	12	A 1				8	円形	32	-	С	
	36	円形	22	15	A 1				9	円形	40	-	A 1	B10 B10 50 50
	37 38	楕円形 円形	73×51 48	9	A 1 A 1				10 11	楕円形 円形	54×50 52	_	В	$P10 \rightarrow P48 \cdot 50 \cdot 52$ $P11 \rightarrow P53$
	38	円形	48	5 10	A 1				12	格円形 格円形	52 44×37	_	A 1	P11→P53 P12→P46 · 47
	1	楕円形	35×29	10	A 1	陶器			13	円形	29	-	В	P13→P47
	2	円形	31	12	A 2				14	円形	21	-	-	
	3	楕円形	31×28	-	-				15	隅丸長方形	45×34	-	-	P 16→ P 15→ S D 05
	4	円形	23	5	A 2	D.5. D.4. 5	_		16	楕円形	52×40	-	A 2	P 16→ P 15→ S D 05
	5 6	円形	30× -	20	A 2 A 4	P 5 → P 6 · 7 P 5 → P 6	1		17 18	楕円形 円形	41×37 27	_	C	
	7	円形	25	5	A 1	P 5 → P 7			19	円形	26	_	C	
	8	円形	25	15	A 2	P 8 → P 9			20	楕円形	28×26	10	A 2	
	9	円形	27	20	A 2	P 8 → P 9			21	円形	27	-	A 1	縄文土器
	10	楕円形	36×34	15	A 3				22	隅丸方形	40×39	-	A 1	
	11	円形	20	20	A 4 C 1				23 24	円形	40 29	_	C	P 25→ P 24
	13	円形	26	16	A 2				25	精円形	30×25	_	C	P 25→ P 24
	14	円形	29×-	16	A 1	P 14→ P 15 · 1	.6		26	円形	49	-	A 1	120 121
	15	楕円形	33×27	10	A 1	P 14→ P 15			27	楕円形	59×49	-	В	
	16	円形	37	30	A 1	P 14→ P 16			28	楕円形	36×32	-	A 1	
	17 18	円形 楕円形	43 96×52	8	A 2 A 1	S K14と重複 P 18→S K13			29 30	円形 楕円形	34 61×47	_	A 1 A 2	
	19	楕円形	29×23	6	A 1	L 10→2 V 12		C 15	31	円形	35	_	A 1	P31→S K06
	20	楕円形	25×21	12	A 1			0.10	32	楕円形	60×51	-	A 1	101 01100
	21	円形	31	20	A 2				33	円形	44	-	A 4	
	22	楕円形	29×23	20	A 2				34	楕円形	55×42	-	-	
	23 24	楕円形 楕円形	20×16 25×20	6	A 2 A 2				35 36	楕円形 楕円形	55×46 30×28	_	A 1 A 1	
C14	25	精円形 精円形	35×28	7	A 2	P 25→ P 27			37	円形	34	_	A 1	
011	26	楕円形	27×20	20	A 1	P 26→ P 27			38	円形	29	-	В	
	27	円形	26	10	A 2	P 25 · 26→ P 2	27		39	円形	39	-	В	S D05→P39
	28	楕円形	38×22	15	A 1				40	楕円形	74×66	-	В	
	29	円形	22 31×28	10	A 1	D 20 - D 21			41 42	楕円形 田形	35×31	_	A 1	D 2 → D 42
	30 31	楕円形 楕円形	31 × 28 32 × 27	15 25	A 2 A 2	P 30→ P 31 P 30→ P 31			42	円形円形	29 19	_	_	P 3 → P 42
	32	円形	28	15	A 2	S K101と重複			44	円形	45	10	A 2	P 44→ P 45→ S D 05
	33	隅丸方形		7	A 4				45	円形	29	-	-	P 44→ P 45→ S D 05
	34	楕円形	28×22	5	A 1				46	円形	30	-	-	P 7 · 12→ P 46
	35	楕円形	30×24	12	A 4	S K95と重複	10 41		47	楕円形	25×24	_	-	P12 · 13 → P47
	36 37	楕円形 円形	27× -	12	- A 2	P 36→ P 39 · 4 P 37→ P 40	U · 41		48 49	精円形 円形	42×32 41	10	-	P 10→P48→ P 52 P 49→ P 10
	38	円形	27× -	5	A 2	P 38→ P 40 · 4	3		50	円形	47	-	_	P10 · 104→P50
	39	円形	29	15	A 1	P 36→ P 39			51	円形	40	_	-	P51→P52
	40	円形	28	17	A 2	P36 · 37 · 38-	→ P 40		52	円形	28	-	-	P 10 · 48 · 51 → P 52
	41	円形	25	10	A 2	P 36→ P 41			53	楕円形	28×26	-	-	P11→P53
	42	円形	26	10	A 2	S K95→ P42			54 55	円形	33	_	-	
	43	円形	34 32	5 20	A 1 A 2	P 38→ P 43			56	円形 楕円形	60 59×40	_	_	
	45	楕円形	25×20	14	A 2	S K93と重複			57	円形	37	-	-	P57→S K06
	46	楕円形	27×23	16	A 4				58	円形	32	-	-	
	47	楕円形	91×65	6	В1	S D06と重複			59	楕円形	53×41	-	-	
	48	円形	28	10	A 1				60	円形	34	-	-	
	49	円形	31	15	A 1				61	円形	36	-	-	

表14 小穴一覧 (9)

表1	4 /,	17/(-	覧(9.	<u> </u>									
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	62	円形	24	-	-	P 62→ P 64		31	楕円形	30×24	-	A 1	
	63	楕円形	22×18	-	-			32	楕円形	32×30	-	В	
	64 65	円形	24 52×-	_	_	P 62→ P 64 P 65→ P 66 · 67		33 34	円形	52 34	_	A 1 A 4	
	66	円形	19×-	_	_	P 65→ P 66		35	格円形	28×22	_	B B	
	67	円形	16×-	-	-	P 65→ P 67		36	楕円形	48×44	-	A 1	鉄製品
	68	円形	22	-	-			37	楕円形	33×28	10	A 1	
	69	円形	27	_	_			38	円形	32	15	A 3	P 38→ P 92
	70 71	楕円形 円形	27×24 33×-	12	A 2			39 40	精円形 楕円形	55×50 36×32	_	A 1	S D05→ P39
	72	楕円形	44×36	12	A 2	P72→P73		41	不整形	82×56	15	A 4	P41→S D05
	73	円形	29	10	-	P72→P73		42	楕円形	52×40	-	В	
	74	円形	33	21	A 2			43	不整形	86×54	14	A 4	P91→P43→P90·92、かわらけ
	75 76	楕円形 円形	28×24 28	6 15	A 2 A 4			44 45	精円形 円形	46×36 44	_	A 1 A 1	P 44→ S K 08 P 44→ S K 08
	77	楕円形	32×28	15	A 2			46	楕円形	34×28	20	A 4	1 44 * 3 1000
	78	円形	29	15	A 2			47	円形	32	13	A 1	
	79	楕円形	22×17	31	A 2	P79→S K99		48	円形	30	10	A 1	
	80	円形	27	15	A 2	D01 D00		49	円形	34	31	A 1	
	81 82	円形円形	42×- 29	10	A 1 A 2	P81→P82 P81→P82		50 51	精円形 隅丸方形	42×34 48×40	15 23	A 1 A 3	
	83	円形	31	15	A 2	P83→S K97		52	円形	34	16	A 1	
C15	84	楕円形	24×22	6		P84→C14P32→SK101		53	楕円形	28× -	13	A 1	P 53→ P 123
	-				A 2			54	楕円形	34×30	10	A 2	
	85	円形	36	5	A 2	P85→S K96		55	円形	24	10	A 2	
	86 87	楕円形 円形	31 × 25 23	5 12	A 2 A 1	P 86→ S K 96 P 87→ S K 96		56 57	精円形 精円形	55×45 50×44	30 23	A 4 A 4	
	88	円形	31	5	A 1	P88→P89→S K96		58	楕円形	40×35	20	A 1	
	89	円形	39	5	A 1	$P88 \rightarrow P89 \rightarrow SK96$		59	円形	24	16	A 2	
	90	楕円形	42×25	5	A 2			60	楕円形	54×45	20	A 1	
	91	精円形 佐田平	59×52	25	A 1	P91→P92		61	楕円形 mm:	64×60	10	A 4	
	93	精円形 円形	59×37 27	21	A 1 A 4	P91→P92		62 63	円形 楕円形	46 44×36	10	A 2 A 4	
		楕円形	62×58	22	A 1	P 94→ P 96 · 97			64	円形	26	10	A 4
	95	円形	41	12	A 2	P 95→ P 96		65	楕円形	26×22	21	-	P 66→ P 65
	96	円形	48	7	A 2	P 94 · 95→ P 96		66	円形	32	-	A 4	P 66→ P 65
	97 98	楕円形 円形	34×30 40	7	A 1 A 2	P 94→ P 97 P 98→ P 99	C16	67 68	精円形 楕円形	28×22 30×25	22 21	_	P68→S K09、土師器
	99	円形	43	8	A 2	P 98→ P 99	C16	69	不整形	30×25	_	A 1	1 00 - 2 17 02 、工即相
	100	円形	32	30	A 1			70	不整形	58×42	17	A 1	
	101	円形	28	15	A 1			71	円形	18	15	A 1	
	102	円形	27	15	A 4			72	楕円形	28×24	15	В	P72→P73
	103 104	円形円形	24 31	6	A 2 A 1	P 104→ P 50		73 74	精円形 楕円形	30×26 26×24	12 20	A 2 A 2	P72→P73
	105	楕円形	21×20	12	A 2	1101 100		75	不整形	30×26	16	A 1	D16 P 2 → P75
	1	隅丸方形	38×30	-	A 1	C16P1→B16P9		76	楕円形	30×28	15	A 2	
	2	円形	30	-	A 1			77	隅丸方形	34×30	10	В	
	3	円形	26 21	13	A 1			78 79	精円形 隅丸方形	28×24 46×38	20	A 1	P 79→ P 78 P 79→ P 78
	5	楕円形	32×28	-	A 4			80	円形	24	20	A 1	173 - 176
	6	楕円形	33×28	-	A 4			81	楕円形	42×26	15	В	P 81→ P 109
	7	円形	40	-	A 1	S K 16→ P 7		82	楕円形	52×40	-	A 4	P 82→ P 108
	8	円形 楕円形	25 55×50	_	A 4	P 9 → S K08		83 84	円形	28 32	_	A A 1	
	10	楕円形	35×31	_	_	P11→P10→S K08		85	不整形	40×36	_	A 1	
	11	円形	30	-	-	P11→P10→S K08		86	楕円形	30×24	15	A 2	
	12	楕円形	34×30	-	A 1			87	不整形	34×28	18	A 2	P 91 → P 87
	13	円形	44	-	A 1			88	楕円形	38×36	35	A 2	P91→P88
	14 15	円形 楕円形	36 30×24	_	A 2 A 1			89 90	精円形 円形	34×28 28	33	A 2 A 2	$P43 \rightarrow P90 \rightarrow P89$ $P91 \rightarrow P43 \rightarrow P90 \rightarrow P89$
C16	16	隅丸方形		-	A 1			91	円形	78	10	A 4	P91→P43 · 87 · 88→P89
	17	円形	30	-	A 1			92	円形	26	9	A 2	
	18	円形	31	-	A 4			93	不整形	52×45	-	-	
	19	円形	30	_	A 1			94	不整形	72×64	10	A 2	P 94→ P 93 · 106
	20 21	円形 円形	32 34	_	A 2 A 1			95 96	円形 楕円形	30 35×32	27 25	A 2 A 2	
	22	不整形	49×42	-	A 2			97	不整形	36×34	20	A 1	
	23	楕円形	54×40	-	A 4			98	不整形	34×25	10	-	P 98→ P 118 · 119
	24	円形	34	-	A 1			99	不整形	35×34	-	-	P 99→ P 119
	25	不整形	48×42	_	A 4			100	不整形	38×38	14	A 2	
	26 27	円形 円形	26 30	_	A 4 A 1			101 102	円形 楕円形	25 32×26	11 18	A 2 A 2	
	28	楕円形	28×25	-	A 4			103	隅丸方形	24×22	12	A 2	
	29	円形	28	-	A 1			104	楕円形	35×30	-	-	
	30	楕円形	36×36	_	A 4	鉄製品		105	円形	38	16	A 2	

表15 小穴一覧 (10)

- 表1	5 /,	八八一	覧(10						ı	도치 도치	100° 5¢		
グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考	グリッド	P番号	平面形	長軸×短軸 (cm)	深さ (cm)	堆積土	備考
	106	楕円形	52×40	34	-	P 94→ P 106		58	円形	26	-	-	P 59→ P 58→ S K 08
	107	円形	25	21	-			59	隅丸方形	92×74	-	-	$P59 \rightarrow P5 \rightarrow SK08$
	108	不整形	25×25	-	-	P 82→ P 108		60	円形	35	-	-	S K04→P60
	109	楕円形	22×18	17	-	P81→P109		61	楕円形	28×20	34	-	P 32→ P 61
	110 111	精円形 円形	26×20 30	33	_			62 63	円形 楕円形	20 24×22	9	A 2	P 32→ P 62
	111	楕円形	40×32	11	_			64	精円形 精円形	28×24	16	A 2	P 65→ P 64
	113	円形	25	15	_			65	楕円形	25×20	20	A 2	P 32→ P 65→ P 64
	114	隅丸方形	44×40	12	-			66	不整形	44×40	8	A 1	P 67→ P 66
C16	115	楕円形	30×28	22	-			67	円形	30	26	A 2	P 67→ P 66 · S K 09
	116	楕円形	28×25	6	-		C17	68	楕円形	31×26	-	A 1	S K09→ P68
	117	楕円形	18×14	13	-		C17	69	円形	22	40	-	P 69→ S K 09
	118	不整形	19×16	10	-			70	楕円形	28×24	35	-	
	119	不整形	22×20	7	-			71 72	不整形	35×28	38	_	
	120 121	精円形 方形	34×30 38×34	21 32	_			73	円形 隅丸方形	34 31×28	24 18	_	
	122	楕円形	32×28	10	_			74	楕円形	36×30	21	А 3	古銭
	123	円形	24	14	-	P 53→ P 123		75	不整形	40×40	21	A 3	H PA
	1	楕円形	64×56	13	В			76	不整形	36×28	20	-	
	2	円形	40	33	A 1			77	不整形	54×50	24	-	
	3	円形	35	20	A 1			78	隅丸方形	32×28	-	-	P 31→ P 78
	4	円形	24	14	A 2	P 4 → S K 04 · P 15		79	楕円形	40×30	15	A 1	
	5	不整形	39×32	40	_ 	P59→P5→SK08		1	楕円形	36×32	30	A 1	
	6	隅丸方形 楕円形	41×34 32×30	34	A 1 A 2	かわらけ		2	格円形 格円形	38×25	20	A 1 A 2	P 3 → S K22
	8	精円形 楕円形	32×30 42×38	60	A 2	N-47らい		4	精円形 楕円形	24×18 40×30	10	A 2	1 J→3 N44
	9	円形	30	24	A 2			5	円形	34	34	A 1	
	10	楕円形	44×38	40	A 2	根石		6	円形	26	15	A 2	
	11	楕円形	32×28	35	A 1	根石		7	楕円形	30×24	34	A 2	
	12	楕円形	66×50	38	А3		C 18	8	円形	30	-	-	
	13	円形	25	23	A 1	S K 04→ P 13		9	楕円形	42×36	-	-	
	14	不整形	165×94	-	A 3	P14→P15 · S K04		10	円形	32	-	-	
	15 16	円形	34 42	32	A 1	P 14→ P 15		11 12	楕円形 楕円形	58 × 44 35 × 32	_	_	
	17	円形	20	20	A 1 A 1			13	円形	32	15	A 1	P 13→ P 12
	18	楕円形	48×44	25	A 1		D14	14	円形	25	30	A 1	1 10 1 12
	19	円形	34	21	A 2			15	円形	35	-	-	
	20	隅丸方形	38×34	-	A 1			1	円形	29	25	A 1	
	21	円形	26	-	A 1			2	円形	28	5	A 1	
	22	円形	24	12	-			1	楕円形	37×34	12	-	
	23	円形	26	13	В			2	円形	31	10	A 1	
	24 25	不整形 楕円形	36×31 24×20	30 18	A 2 A 2			3	円形円形	23 31	7 21	A 2 A 2	
	26	不整形	32×30	30	A 4		D15	5	円形	35	24	A 1	P 5→P 6
	27	円形	30	23	A 4		210	6	円形	38	18	A 2	P 5 → P 6
	28	円形	34	18	A 1			7	円形	33	21	A 1	
C17	29	楕円形	32×30	35	А3	P 29→ P 75		8	円形	20	21	A 2	
	30	楕円形	35×26	-	A 2			9	楕円形	35×33	18	A 2	
	31	楕円形	36×24	20	A 1	P31→P78、土師器、根石		1	楕円形	32×28	15	A4	D.O. 010DE5
	32 33	隅丸方形 円形	92×70 32	- 17	A 1 A 1	P32→P61·62·65、土師器·陶器 土師器		2	楕円形 楕円形	82×62 32×30	_	A 1 B	P 2→C16P75
	34	格円形	38×36	20	A 1	工制器	D16	4	精円形 精円形	32 × 30 24 × 18	16	A 2	
	35	円形	48	10	В		210	5	隅丸方形		13	A 2	
	36	楕円形	30×24	30	A 1			6	円形	34	18	A 1	
	37	楕円形	30×28	25	-	P 37→D 17 P 14		7	円形	32	9	A 1	S K16→P 7
	38	円形	24	-	A 2			1	円形	28	15	С	土師器・陶器
	39	円形	26	40	A 1			2	円形	40	17	A 1	P 3 → P 2
	40 41	不整形 不整形	61 × 54 46 × 42	50	A 2			3	楕円形 楕円形	26×22 20× -	10	A 1	P 3 → P 2
	41	円形	46 × 42 32	35 13	A 2 A 3			5	悄円形 円形	20 × -	20 24	A 1 B	$P 4 \rightarrow P 12$ $P 5 \rightarrow P 12$
	43	格円形	32×28	43	A 4			6	円形	28	40	A 1	1 0 -112
	44	楕円形	30×26	20	A 2			7	楕円形	32×26	20	A 1	土師器
	45	楕円形	40×28	18	A 1		D17	8	楕円形	64×40	15	A 1	
	46	楕円形	22×18	18	A 1			9	円形	30	10	A 2	土師器
	47	楕円形	54×40	20	A 1			10	楕円形	26×20	10	A 2	
	48	不整形	52×46	25	В	D40 - D50 - D51		11	円形	28	12	-	D.4 5 . D.10
	49	楕円形 梅田形	42×24	30	A 1	P49→P50→P51		12	楕円形 田形	30×24	24	Α 1	P 4 · 5 → P 12
	50 51	楕円形 円形	52×30 22	30 18	A 2	$P50 \rightarrow P52$ $P49 \rightarrow P50 \rightarrow P51$		13 14	円形 楕円形	26 30×25	14	A 1	C 17 P 37→ P 14
	52	楕円形	34×30	32	_	P50→P52		15	隅丸方形		-	_	C1/1 0/ 1 1T
		楕円形	26×23	20	-		D18	1	楕円形	22×16	50	A 1	
	53												
	53	楕円形	25×24	31	-								
	54 55	楕円形	28×24	33	-								
	54					かわらけ、古銭							

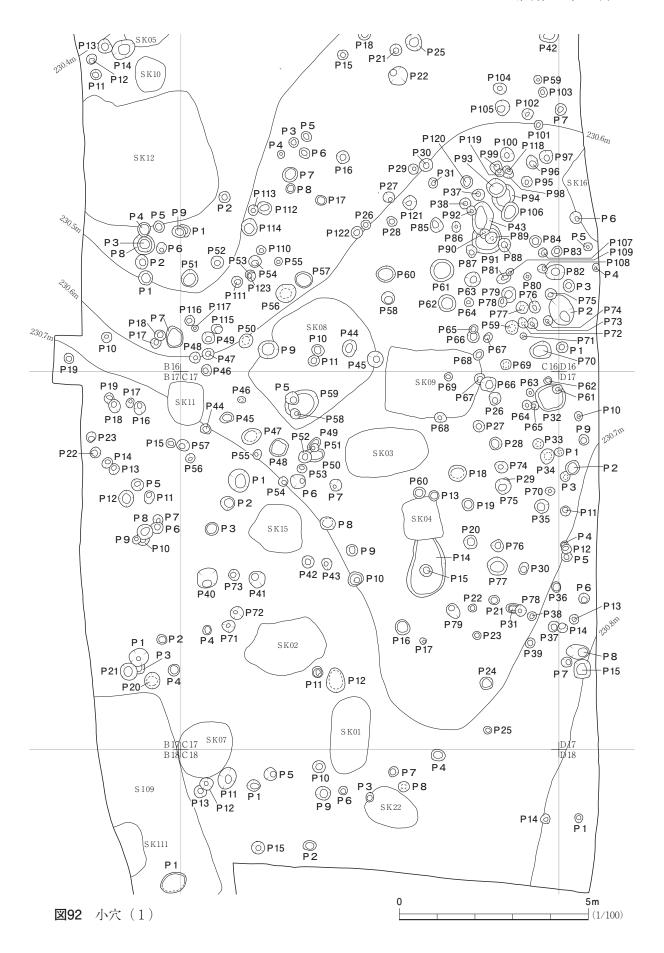






図94 小穴(3)

には油煙が付着していることから、灯明皿としての使用がうかがえる。

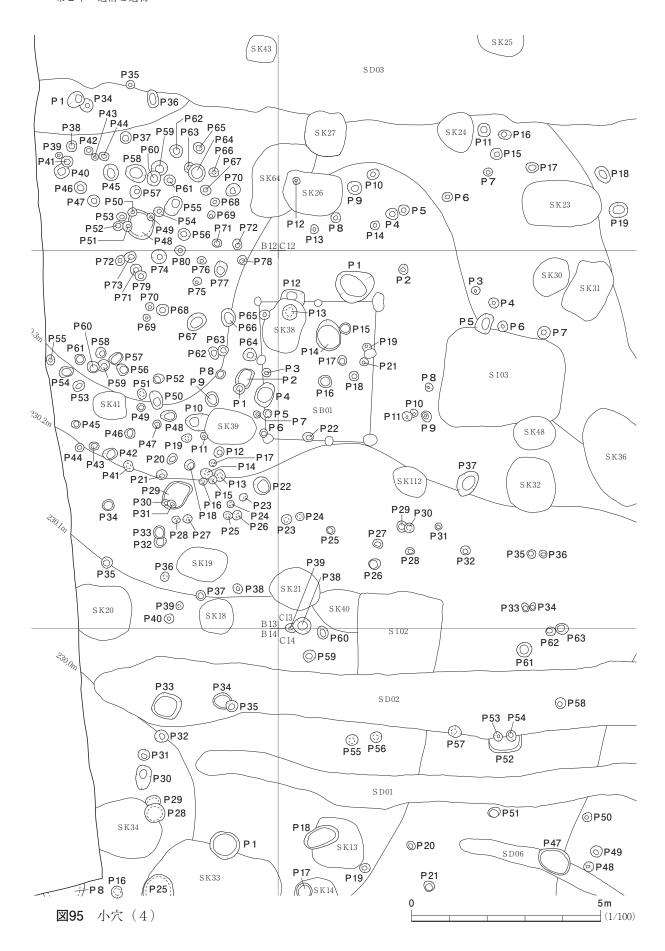
図 $100-8\sim14$ は陶器である。9は常滑焼のこね鉢、 $8\cdot10\sim12$ は常滑焼の甕もしくは壺で、8の外面には沈線がみられる。 $13\cdot14$ は瓷器系の在地産で、13は甕で口縁部が直立気味に立ち上がる。14は甕もしくは壺である。図100-15は青磁の椀である。

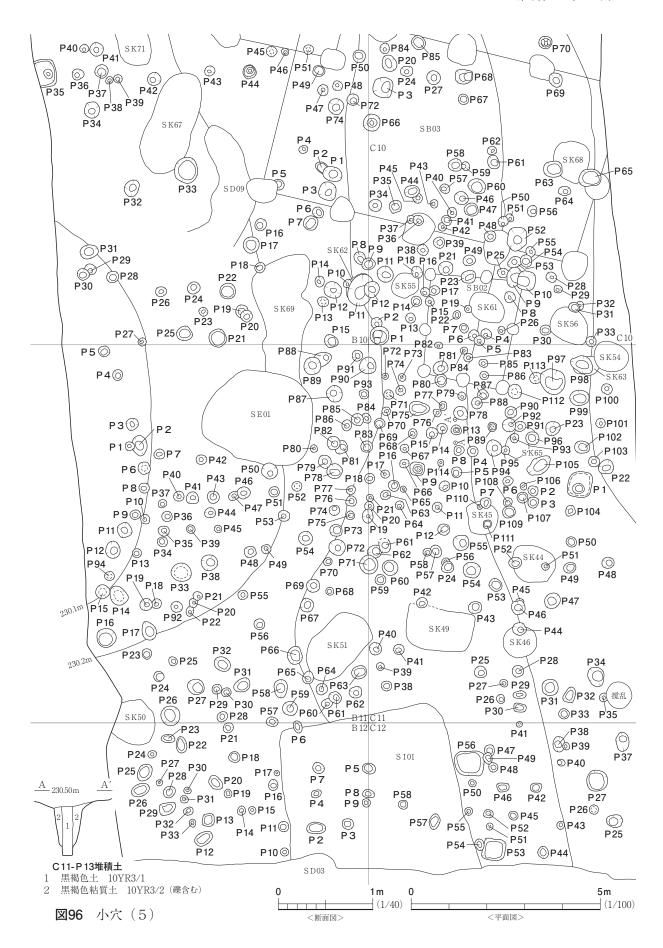
図100-16~18は土師器で、16・17は杯で、いずれも6世紀後葉から7世紀前葉の所産であろうか。16は小型杯で口縁部は外傾し、底部は丸底である。17の口縁部と体部の境には段がみられる。18は甕である。底部内面には打ち欠いたような痕跡がみられ、外面は胴部下端から底部にわたりヘラケズリが施されている。

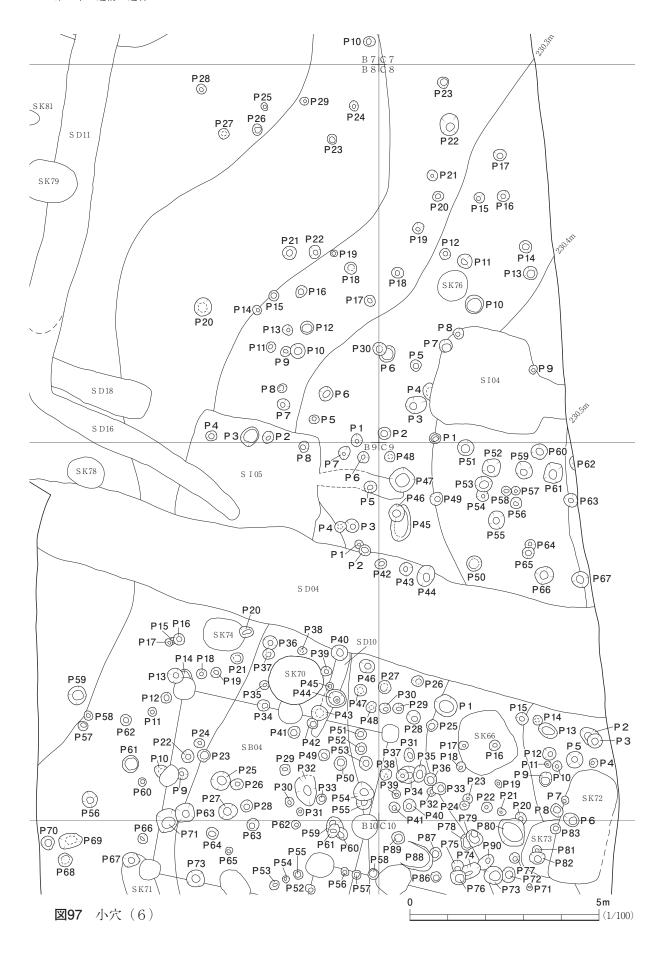
図100-19~21は縄文土器である。19・20は縄文を地文として沈線文が、21は網目状撚糸文が施されている。19・20は縄文時代後期前葉、21は縄文時代晩期中葉の深鉢とみられる。

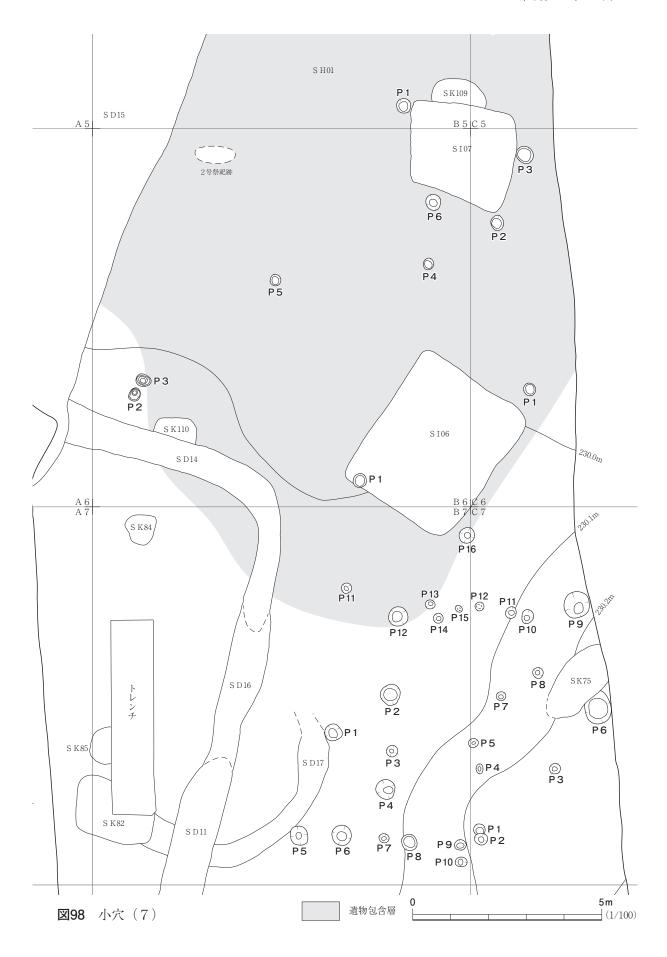
図 $100-22\sim25$ 、図 $101-1\cdot2$ は鉄釘である。釘頭は屈曲し、断面形は方形である。図 101-3 は鎹で、断面形は楕円形である。図 101-4 は板状鉄製品である。

図101-5~9は古銭で北宋銭である。5は「元豊通寳」(初鋳1078年)、6は「元祐通寳」(初鋳











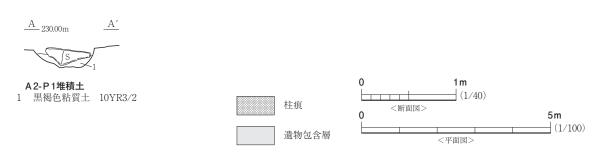


図99 小穴(8)

152

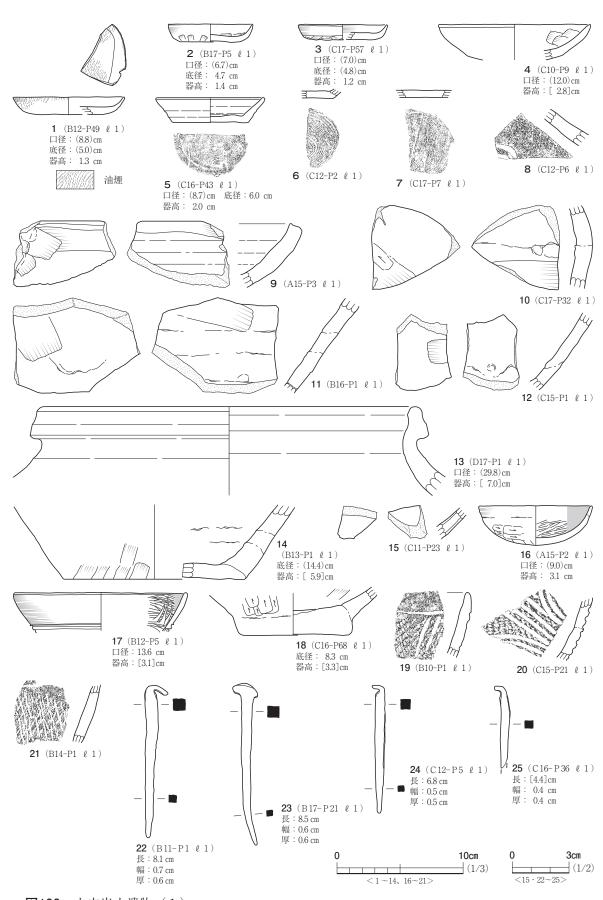


図100 小穴出土遺物(1)

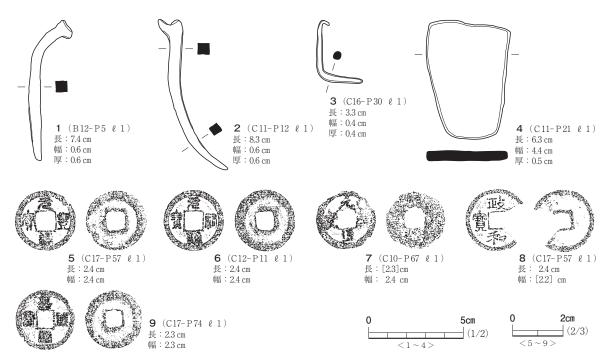


図101 小穴出土遺物(2)

1086年)、7は「元符通寳」(初鋳1098年)、8は「政和通寳」(初鋳1111年)、9は銭貨名を特定することはできなかった。

写真図版60に示した焼けた土壁は、長さ $5\sim9$ cmで、スサが混入されている。 $1\sim2$ 面にわたって面が整えられている。

まとめ

小穴は、建物もしくは柱列を構成していた柱穴と考えている。さらに、小穴のなかでもC10-P67では古銭の出土状況から、埋納などの行為がうかがわれる。C17-P57からは古銭3枚とかわらけが出土しているので、何らかの儀礼に伴う行為がうかがわれるような事象がみられた。

小穴の時期は15号溝跡の区画内となる東側では中世、区画外となる西側では古代と考えている。

(吉 野)

第9節 その他の遺構と遺物

ここでは、畑跡、遺物包含層、遺構外出土遺物について記す。畑跡は、調査区北東部から2箇所確認した。遺物包含層は調査区北部と西端部の2箇所確認した。なお、遺物包含層・遺構外での遺物の取り上げはLII・III・IVで行っている。

1号畑跡

遺 構(図102、写真46)

調査区北東部のB2グリッドに位置する。検出面はLIVa上面である。重複する遺構は無く、東側に1号祭祀跡、南側に2号畑跡が隣接している。

南北 $10.5\,\mathrm{m}$ 、東西 $5.3\,\mathrm{m}$ の範囲に並ぶ 11 条もしくは 13 条の畝間溝からなる。畝間溝の方向は北から約 60° 西に傾く。東側は調査区外に延びているが、検出された範囲で畝間溝の最大の長さは $5\,\mathrm{m}$ 、幅は $30\sim50\,\mathrm{cm}$ 、検出面からの深さは $10\,\mathrm{cm}$ 前後で、畝間溝の断面形は U 字状となっている。畝間溝どうしの間隔は、北側では $40\sim60\,\mathrm{cm}$ と比較的揃っている。しかし南側では $10\,\mathrm{cm}$ ほどと幅狭かったり、逆に $1\,\mathrm{m}$ 以上の箇所があったりと一定しないことから、これらの畝間溝は複数回の耕作によって形成されたものと考えられる。

堆積土は1層確認した。図示していないものも含めていずれも共通している。 ℓ 1はHr-FP(榛名-伊香保テフラ)とみられる白色粒子を多量含んでいる。また部分的に暗褐色砂が集積していることから、人為堆積を考えている。

缴 (図102、写真60)

遺物は畝間溝の堆積土を中心に土師器20点、土製品1点、縄文土器1点が出土している。図示したのは、南端の畝間溝に隣接する位置に、正位で置かれていたミニチュア土器である(図102-1)。

まとめ

2号畑跡

講 構(図103、写真47)

調査区北東部のB3グリッドに位置する。検出面はLIVa上面である。本遺構は南北6m、東西8.3mの範囲に並ぶ7条の畝間溝からなる。重複する遺構は5号建物跡と小穴で、本遺構が古い。畝間溝の方向は北から約60°西に傾く。東側は調査区外に延びているが、検出された範囲で畝間溝の最大の長さは6.1m、幅は30~50cm、検出面からの深さは10cm前後である。畝間溝の断面形はU字状となっている。畝間溝の間隔は北西側の40~50cmと揃っている部分もあれば、東側の1m以上の間隔があく部分もあり、複数回の耕作によって畝間溝が形成されたことが伺える。

堆積土は1層確認した。図示していないものも含めていずれも共通している。 ℓ 1 は L V a 由来 とみられるにぶい黄褐色土塊が含まれていることから、人為堆積を考えている。

遺物は畝間溝の堆積土から土師器15点が出土したが、いずれも細片である。

まとめ

本遺構の時期については、明確な根拠に乏しい。1号畑跡に隣接して位置し、出土遺物もほとんどが古墳時代後期とみられる土師器片であることから、近い時期の可能性も考えられる。しかし1号畑跡と明らかに堆積土が異なることから、古墳時代後期以降と考えておきたい。 (神 林)

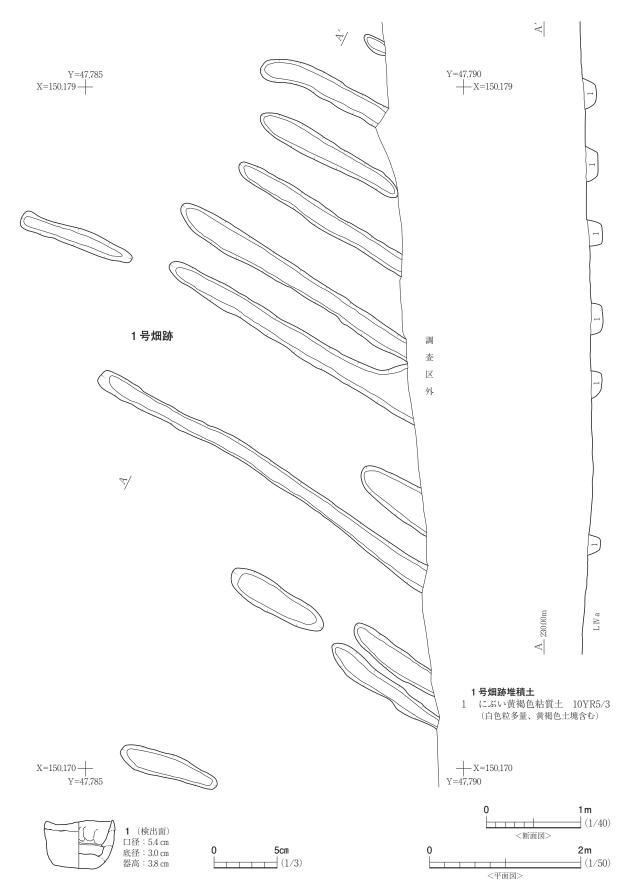


図102 1号畑跡・出土遺物

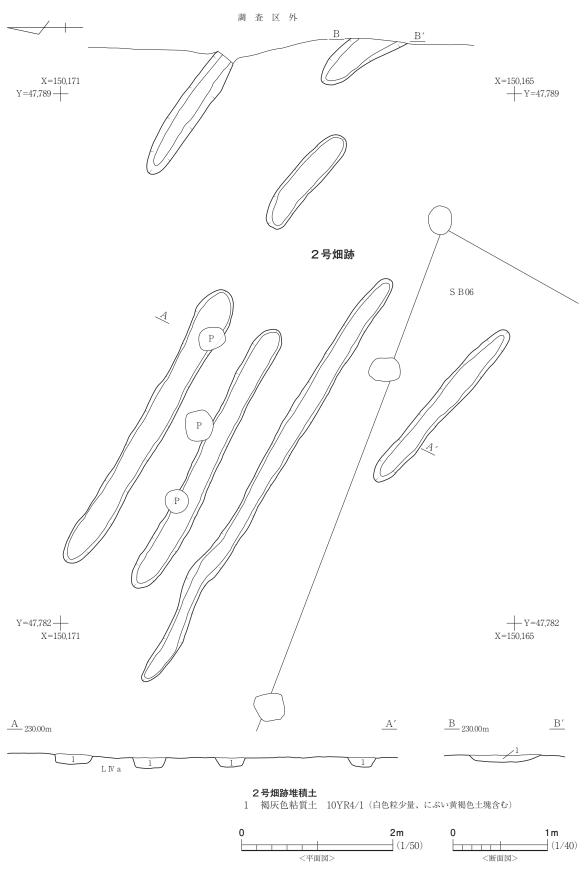


図103 2号畑跡

第1遺物包含層 SH01

出土状況(図104)

第1遺物包含層は、調査区北部の $A3\sim5$ 、 $B3\sim7$ 、 $C4\sim6$ グリッドに分布する。本遺物包含層はLIII・IVで、特に遺物の多く出土する範囲に対して付けた呼称である。

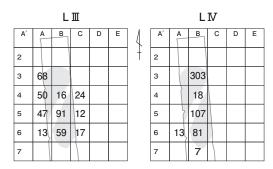


図104 第1遺物包含層土師器出土点数

本遺物包含層からは土師器926点、須恵器 8 点、土製品 4 点、弥生土器 7 点、かわらけ 1 点、陶器 4 点、青磁 1 点、石製品 1 点、鉄製品 2 点、鉄滓 1 点が出土した。このなかで最も出土数が多い土師器について、グリッド毎の出土数を $L \coprod \cdot \mathbb{N}$ に分けて図 104 に示した。 $L \coprod \circ$ は、 B 3 グリッドを除いた全域での出土がみられる。一方、 $L \mathbb{N}$ では、 $B 3 \sim 7$ グリッドからの出土に限定され、特に B 3 グリッドでの出土数が最も多い。

遺 物(図105、写真60)

 $1 \sim 3 \cdot 6$ は土師器杯で、内面にはヘラミガキ・黒色処理が施されている。1 は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられない。2 は口縁部の外傾が著しく、口縁部と体部の境に段がみられる。外面は器面が磨滅しているため調整は不明である。3 は底部が丸底で、外面にヘラミガキが施されている。6 は口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。外面では口縁部にヨコナデ、体部にヘラケズリが施されている。

4・5・7・8はミニチュア土器で、4・5の内面には黒色処理が施されている。7は杯の器形を模している。口縁部は外傾し、口縁部と体部の境に段がみられる。8は手づくねで成形され、外面に指オサエ、内面に指ナデがみられる。

10は土師器甕である。外面にはヘラケズリ・ヘラミガキが底部まで、内面はハケメ・ヘラミガキが施されている。

9・11・12は須恵器である。9は蓋の摘部で、宝珠形となっている。成形は粘土紐を円形に巻いている。11は円面碩である。脚部には縦位の沈線が3条みられ、その左側には透かし孔が穿たれている。12は聴で、凹線文間列点文が施されている。

13はかわらけの小皿で、手づくね成形である。14は弥生土器の壺で、1本描きの平行沈線文で 三角文が施されている。弥生時代中期後葉の所産である。15は砥石で、被熱を受け炭化材が付着 していた。破断面以外は使用され、端部には円形の窪みがみられる。 (吉 野)

第2遺物包含層 SH02

出土状況(写真48)

第2遺物包含層は、調査区西端部のA´15グリッドに分布する。本遺物包含層は調査区外に分布し、調査区ではその東端部を確認した。本遺物包含層はLⅢ・Ⅳで、特に遺物が多く出土する範

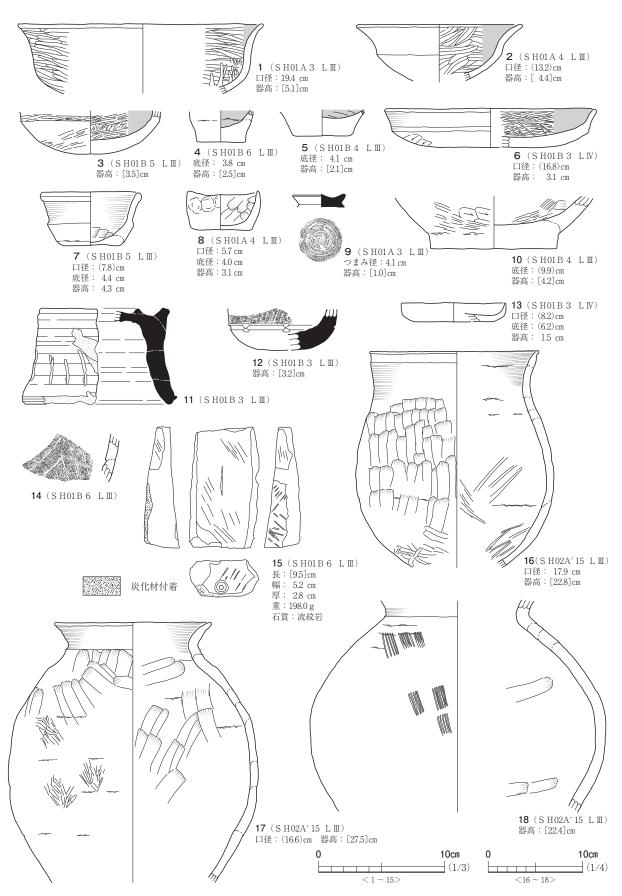


図105 第1・2遺物包含層出土遺物

囲に対して付けた呼称である。

本遺物包含層からは、土師器209点が出土した。その内訳はLⅢでは191点、LⅣでは18点である。

谢 (図105、写真60)

16~18は土師器甕である。16は口縁部がわずかに外傾し、幅の広い凹線を巡らし口唇部を肥厚させている。胴部は長胴を呈する。口縁部にはヨコナデ、胴部にはヘラナデ・ヘラミガキが施されている。17は口縁部が屈曲し、頸部に段がみられる。胴部は球形を呈する。口縁部はヨコナデ、胴部にはヘラナデ・ヘラミガキが施されている。18は口縁部が屈曲し、胴部は中程で張り出している。胴部にはハケメ・ヘラナデが施されている。

遺構外出土遺物

出土状況(図106)

遺構外からは、407点の遺物が出土した。その内訳は表採出土遺物を加えると、土師器 339点、かわらけ 22点、陶器 23点、瓦質土器 1点、青磁 1点、須恵器 2点、縄文土器 12点、古銭 6 点、鉄製品 7点である。遺物に占める割合は土師器が多いので、土師器について、グリッド毎の出土数を $L \ \square \cdot \square \cdot \square$ に分けて図 106 に示した。 $L \ \square \cdot \square \cdot \square$ での出土数が多く、 $L \ \square \cdot \square$ では少ない。

遺 物(図107)

 $1 \cdot 2$ は土師器甕である。1の口縁部は短く外傾する。口縁部はヨコナデ、胴部は外面がヘラケズリ、内面はヘラミガキが施される。2の胎土には黒色粒が含まれ、底部外面には木葉痕がみられる。 $3 \cdot 4$ は須恵器で、3は甕の胴部で外面に平行タタキ、内面にアテ具痕がみられる。4は長頸瓶で、高台部が欠損している。体部下端は回転ヘラケズリ再調整が施されている。

 $5\sim9$ はかわらけで $5\cdot9$ は小皿、 $6\cdot8$ は皿である。 $5\sim7$ は手づくね成形、 $8\cdot9$ はロクロ 成形で底部外面に回転糸切痕がみられる。 7 の内外面には油煙が付着しているので、灯明皿として 使用されていた。 $10\sim13\cdot15$ は陶器である。 $10\cdot11$ は常滑焼のこね鉢、 14 は瓦質土器で、火鉢も

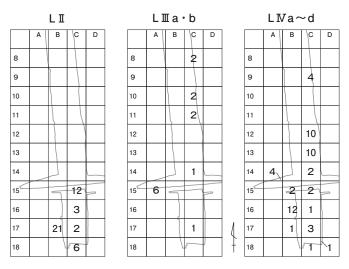


図106 遺構外土師器出土点数

しくは風炉の底部である。12・13は在 地産の甕もしくは壺で、12の外面には 窯壁が付着している。15は古瀬戸の瓶 子で、外面に灰釉が施されている。

16は青磁の椀で、全面施釉で高台畳付の釉を掻き取っている。

17~19は古銭で、北宋銭である。17 は「皇宋通寳」(1038年)、18は「嘉祐通寳」 (初鋳1056年)、19は「熙寧元寳」(初鋳 1068年)である。 (吉 野)

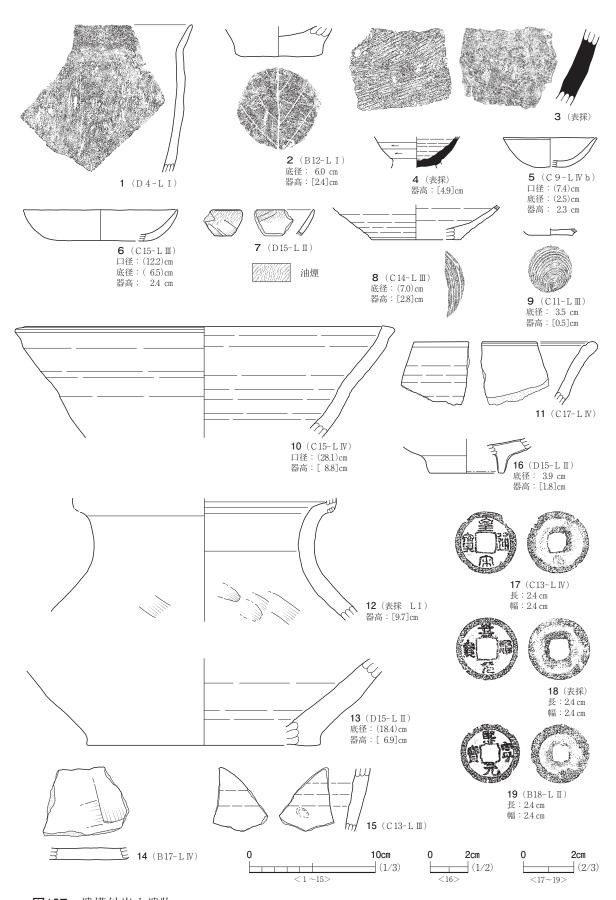


図107 遺構外出土遺物

第3章 ま と め

第1節 遺 物

古墳時代の土師器

古墳時代の土師器は、 $1 \cdot 5$ 号住居跡、 $1 \sim 3$ 号祭祀跡、第 $1 \cdot 2$ 遺物包含層、遺構外から出土している。 $1 \cdot 5$ 号住居跡からは器種組成をうかがわせるような豊富な遺物は得られなかった。一方、 $1 \sim 3$ 号祭祀跡からは、多くの土師器が出土した。

出土した土師器の器種は、杯・鉢・高杯・壺・甕・甑である。鉢・高杯・甑は1個体のみの出土 であるため、以下、杯・壺・甕の器形や調整の概要をまとめる。

杯 杯の底部の多くは丸底で、口縁部の立ち上がりは外反・外傾・直立などの形状の違いや、口 縁部と体部の境に段がみられるものやみられないものがある。その特徴は以下のとおりである。

杯 A: 底部は丸底で、口縁部が外反し、口縁部と体部の境に段がみられないもの(図77-1、 図79-1~3、図84-1~4・7・9・11・12、図85-17)。

杯 B:底部は丸底で、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられないもの。

杯BI:内面に、口縁部と体部の境の稜がみられるもの(図84-6・8、図85-16、図86-1)。

杯BⅡ:内面に、口縁部と体部の境の稜がみられないもの(図9-4、図85-19)。

杯 C:底部は丸底で、口縁部が屈曲し、口縁部と体部の境に段がみられないもの(図84-5)

杯 D:底部は丸底で、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられるもの。

杯DI: 口縁部と体部の境にある段の位置が中央にあるもの(図79 - 6 ~ 8、図85 - 5 ~ 15・18・20)。

杯 D II : 口縁部と体部の境にある段の位置が下方にあるもの(図77 - 2 ~ 6、図78 - 1 ~ 5・ 7 ~ 9)。

杯DⅢ:口縁部と体部の境にある段が退化傾向にあるもの(図9-1)。

杯 E:底部は丸底で、口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられるもの。(図78-11、図 $85-1\sim3$)。

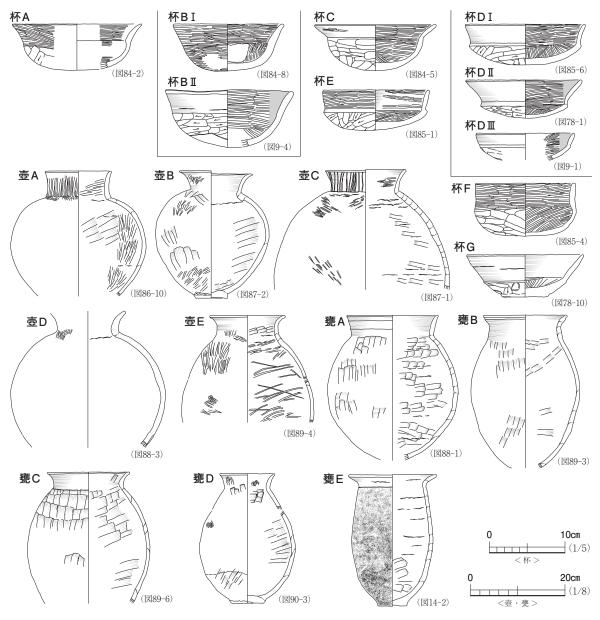
杯 F:底部は丸底で、口縁部が直立し、口縁部と体部の境に段がみられないもの(図84-10・13・14、図85-4・19)。

杯 G:底部は平底で、口縁部が外傾し、口縁部と体部の境に段がみられるもの(図78 - 10、図 79 - 4)

壺 図86-6・7の小型壺、図87-1・4などの器高が30cm以上の大型品などがある。

壺A:口縁部は直立し、胴部は球形を呈するもの(図86-6・9・10)。

壺B:口縁部は外傾し、胴部は球形を呈するもの(図87-2~4、図88-2)。



3号祭祀跡 (1·3·5~7、10·12~21) 1号祭祀跡 (8) 5号住居跡 (9·21)

図108 土師器器形分類図

壺C:口縁部は外傾し、胴部は倒卵形を呈するもの(図87-1、図89-2)。

壺D:口縁部が屈曲し、胴部は球形を呈するもの(図88-3)。

壺E:口縁部が外反し、胴部が長胴を呈するもの(図89-4)。

壺の器面調整は、口縁部ではヨコナデ、ヘラミガキ、胴部ではヘラナデ、ヘラミガキなどが施されている。

甕 甕は杯に次いで個体数が多い。図90-1の小型甕、図 $88-1-3\cdot6$ 、図89-3、図90-7のように器高が30cm超えるもしくはみられる大型品などがある。

甕A:□縁部が外傾し、胴部は球形を呈するもの(図88-1)。

甕B:口縁部が外傾し、口唇部近くで屈曲する。胴部は長胴を呈するもの(図89-3)。

甕C:口縁部が屈曲し、胴部が長胴を呈するもの(図89-1・4~6)。

甕D:□縁部が外傾し、胴部は下半に最大径を有するもの(図90-3)。

甕E:口縁部が扁平気味に屈曲し、頸部には段を有する。胴部の長胴化が顕著なもの(図14-2)。 甕の器面調整は、口縁部ではヨコナデ、胴部ではヘラナデ・ヘラミガキ・ハケメなどが施されている。

以上のような特徴から、従来の土器編年(石本1995)・(柳沼1989)に該当するのは舞台式期から 栗囲式期にかけてのものであろう。舞台式期に含まれるのは、杯AI・杯BI・杯C・杯E・杯DI・杯F、壺A~C、甕A~Gとみられる。一方、栗囲式期に含まれるのは杯BⅡ・杯DⅡ・杯DⅢ・杯G、甕Hとみられる。遺構でみると、舞台式期が2・3号祭祀跡、栗囲式期が1号祭祀跡、1・5号住居跡とみられる。

次に、 $1\sim3$ 号祭祀跡から出土した特徴的な杯についてみてゆく。まず、 $1\sim3$ 号祭祀跡では非黒色処理の杯がみられるものの、多少の差がある。最も多いのは3号祭祀跡、次に2号祭祀跡で、1号祭祀跡では黒色処理の杯が多くなっている。さらに、 $1\sim3$ 号祭祀跡からは、色調が赤褐色となっているものがみられる。これは器面にベンガラなどの顔料を塗布・定着したのではなく、鉄分を含む胎土を用いて、焼成により発色を生じたとみられる。このような特徴の土師器杯は、天栄村舞台遺跡で杯 C I 類を赤褐色土器(玉川 1981)としている。本遺跡の赤褐色土器とは器形が異なるものの、類例の1つとして挙げられる。

なお、徳定 B 遺跡第10号住居跡出土土師器杯について鬼高系杯と評価がなされている(菅原 2007)。今回の調査においても、杯Eとした図 $85-1\sim3$ が鬼高系杯に相当するとみられる。

かわらけ・陶磁器

ここではかわらけ・陶磁器をみてゆく。表16によると、陶磁器よりもかわらけの出土数が多い。 陶器では在地産と非在地産(常滑焼・渥美焼・信楽焼・古瀬戸)があり、在地産よりも非在地産が 大半を占め、非在地産のなかでも常滑焼が多い。磁器は青磁と白磁があり、青磁が多く出土してい る。

かわらけ かわらけは手づくね成形とロクロ成形があり、手づくね成形が多い。小皿・皿、杯などがあるが、小皿が多い。

福島県考古学会中近世部会編年(福島県考古学会中近世部会1997)では、3・4期(12世紀末~14世紀前半)に位置付けられる。このなかで、3期前半(12世紀末)の図64-2の皿は手づくね成形で、口縁部にヨコナデ、底部外面に指頭圧痕がみられる。3期後半(13世紀後半)の図64-1、図75-1の小皿、及び図75-5はロクロ成形で、底部外面に回転糸切り痕と板状圧痕がみられる。4期(14世紀前半)はロクロ成形で、図62-1の小皿は浅く体部が直に立ち上がり、図42-13の皿は体部がやや開く器形である。図100-2の小皿は手づくね成形で、底部内面が盛り上がるヘソ皿状となっている。

表16	かわ	らけ	•	陶磁器の点数
-----	----	----	---	--------

	八、紹				出:	土遺構の点	(数				,I.	⇒L	A⇒L	割合		
	分 類	住居跡	建物跡	土坑	井戸跡	溝 跡	祭祀跡	小 穴	包含層	遺構外	小計		合計	分类	類別	全体
かわらけ	手づくね成形	2		42	13	47	1	11	1	12	12	129		57	7%	
らけ	ロクロ 成形	2	1	27	3	45		9		10	9	7	226	43%		52%
	小計	4	1	69	16	92	1	20	1	22	226		100%			
	常滑	11		22	7	67		7	4	23	141			77%		
陶	古瀬戸			6		1				1	8	150	152 183	4%	83%	o/
	渥美			1		1					2	152		1%	0070	42%
器	信楽			1							1			1%		4270
	在地産	2		5	5	15		2		2	31		17	7%		
	小計	13	0	35	12	84	0	9	4	26	183		100	0%		
磁	青磁			2	3	7		1	1	1	15		60)%		
器	白磁	2		3		5					10		40)%	6%	
	小計	2	0	5	3	12	0	1	1	1	25		100	0%		
	合計	19	1	109	31	188	1	30	6	49		434				100%

陶 器 在地産の器種は、瓷器系のこね鉢・壺・甕などである。年代は13世紀後半から14世紀 前半のものである。

常滑焼の器種は、こね鉢・壺・甕などである。中世常滑焼の生産地編年(永原編1995)での位置付けは、こね鉢が片口鉢 I 類 5 型式・片口鉢 II 類 5 ~ 7 型式、壺が 6 a・ b 型式、甕が 4 ・ 6 a~ 7 ・ 9 型式などに位置付けられ、その年代は13世紀前半~14世紀前半・15世紀前半となる。その詳細は、図18 - 2 ・ 3 が片口鉢 I 類 5 型式(13世紀前半)、図16 - 1 が片口鉢 II 類 5 型式(13世紀前半)、図42 - 8、図71 - 2 が片口鉢 II 類 6 a~ b 型式(13世紀後半)、図12 - 1 が片口鉢 II 類 7 型式(14世紀前半)となる。壺は図75 - 6 が 6 a型式(13世紀中葉)、図68 - 3 が 6 b 型式(13世紀後葉)となる。甕は図76 - 3 が 4 型式(12世紀末葉~13世紀初頭)で押印帯がみられる。図64 - 9 が 6 b~ 7 型式(13世紀後半~14世紀前半)、図18 - 1 が 9 型式(15世紀前半)となる。その他、壺もしくは甕の図42 - 5 が 6 a型式(13世紀中葉)、図64 - 11 ・ 12 が 6 b~ 7 型式(13世紀後半~14世紀前半)となる。

渥美焼は、図65-1の袈裟襷文壺がある。この壺は、渥美窯製品編年(愛知県史編さん委員会編2012)によると、1a型式期(12世紀前半)に位置付けられ、伝世品とみられる。信楽焼は図42-14で、その特徴である石英粒を多量に含む胎土から判断した。小破片のため器種は不明である。

古瀬戸の器種は、平底末広椀・卸し皿・緑釉小皿・折縁深皿・花瓶・水注・瓶子などである。古瀬戸編年(財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター1997)では、前期~後期様式(13世紀第4四半期~15世紀初頭)に位置付けられる。

図43-3の平底末広椀は前期様式の13世紀第4四半期。図43-4の卸し皿、図43-5は花瓶Ⅱ

類、図42-17の水注は中期様式の14世紀前半。図43-1の折縁深皿は中期様式末から後期様式初頭の14世紀中頃~後半。図41-6の緑釉小皿は後期様式 I 期で14世紀後半。図107-15の瓶子はII類(梅瓶型)で、後期様式前半の14世紀後半~15世紀初頭。

磁器 磁器の位置付けは(山本1995)に基づく。青磁と白磁があり、年代は13世紀後半から15世紀前半にかけてのものである。

青磁の器種は、龍泉窯系の椀・盤・杯もしくは皿などである。図65-5~8の鎬蓮弁文の椀、図43-2の盤は13世紀後半~14世紀前半。図42-19の杯もしくは皿は14世紀後半~15世紀前半。図45-14、図65-4の見込に陰花文のある椀は14世紀前後。

白磁の器種は、椀・皿である。図41 − 5の口禿椀はIX類、図42 − 2 · 4、図65 − 9 · 11の皿は 13世紀中頃から14世紀初頭。図68 − 6の皿は14世紀頃とみられる。

その他の遺物

木製品 木製品は1号井戸跡から出土したもので、曲物・火付木・串・井戸枠構成材などがある。このうち、図46-13~16の火付木、図46-17・18の串、図47-1、図50-1・2、図53-1の曲物、井戸枠構成材92点について樹種同定を実施した。樹種同定の結果は、図46-13・14・16の火付木がマツである以外、すべてアスナロであった。井戸枠構成材については、相当数の樹種同定を実施したことから、アスナロを用材としていたものと推定している。さらに、同一の樹種を用いていることから、転用材であったとは考え難い。

アスナロは「ヒノキ科の針葉樹(アスナロ属)で、東北地方に広く分布」「中世に入っても、ヒノキ・アスナロ・マキなどのヒノキ系の材は好まれ、寺社建築ではやはり主要な木材であった。」(海野 2022)という。本遺跡の立地がアスナロを調達し易い場所であったことを推測している。

鉄製獣脚手取釜 鉄製獣脚手取釜は、1号土坑から出土し、共伴する常滑焼の甕もしくは壺は、 胴部の破片であるため詳細な年代までは絞りきれないものの、本遺跡での常滑焼の年代が13世紀 前半~14世紀前半・15世紀前半であるので、この年代のいずれかとすることができよう。本手取 釜は茶器として用いられ、底には一文字湯口(写真図版51)がみられ、天明釜やその系譜を引く工 人によって作られたと考えられる(降矢2011)。

本遺跡の出土例は現状では他の遺跡からは見出されないものであるが、伝世品では九州国立博物館収蔵品の16世紀後半の獣足手取釜(註1)が知られる程度である。

第2節 遺 構

祭祀跡

1・2号祭祀跡は土師器杯を中心に配置され、3号祭祀跡は多くの土師器杯・壺・甕などが配置

されていた。そのなかでも、石製模造品・土玉・手づくね土器などの出土が僅かである。これが本 祭祀跡の特徴である。さらに、東北新幹線関連遺跡調査においても、住居跡から石製模造品・臼 玉・土玉などが僅かながら出土していることから、住居内での祭祀が窺われる。

なお、5世紀後半~6世紀初頭の祭祀跡が確認された正直A遺跡(福島県教育委員会1994)では 多量の石製模造品が出土している。本祭祀跡と比較すると石製模造品の出土量が異なっている。こ のことは、福島県内の祭祀遺物を集成した高松俊雄氏によると、6世紀中頃には石製模造品を使用 する祭祀はほとんどなくなるとの指摘(高松1996)と同じ傾向を示している。

中世の遺構

本遺跡で確認した中世の遺構は、掘立柱建物跡・住居跡・土坑・井戸跡・溝跡・小穴などである。 掘立柱建物跡では1~4号建物跡が中世に含まれる。そのうち3号建物跡は規模が大きいことから主要な建物であったことが考えられる。なお、1号建物跡に隣接する3号住居跡や3号建物跡に 隣接する72号土坑からは、焼けた土壁が多く出土している。このことから、1・3号建物跡は土壁の建物であった可能性が高い。

小穴は掘立柱建物や柱列を構成していた柱穴とみられるが、建物等の復元ができなかったものである。

住居跡・土坑のうち $3\cdot 4\cdot 6\sim 9$ 号住居跡、 $8\cdot 12$ 号土坑については、方形竪穴建物跡と考えている。特徴としては、底面には柱穴がなく、 $4\cdot 9$ 号住居跡のように張り出し部を有するものもある。なお、方形竪穴建物跡は「住居・土倉・工房」(飯村 2009)などの機能が考えられている。

溝跡のうち、 $1\sim4\cdot6\cdot8\sim12\cdot14\sim21$ 号溝跡は中世に属するものである。そのなかでも、15号溝跡は集落の西辺を区画する堀、 $3\cdot4$ 号溝跡は堀内部を区画する溝と推定している。

溝跡と住居跡・建物跡との関係をみると、1号建物跡と3号住居跡は3号溝跡と、3・4号建物跡と4号住居跡は4号溝跡と、6号住居跡は15号溝跡とほぼ平行する。

なお、郡山市の調査においても中世の溝跡・堀跡・火葬遺構などが確認されている。そのなかでも、第1次調査③の西端で確認された溝跡は、道跡の側溝ともみられる。さらに、第2次調査④で確認された堀跡は、深さが $1.7\sim1.9\,\mathrm{m}$ と規模が大きなものである。このように、本遺跡の広い範囲で中世の遺構が存在していることを示唆している。

遺構の変遷

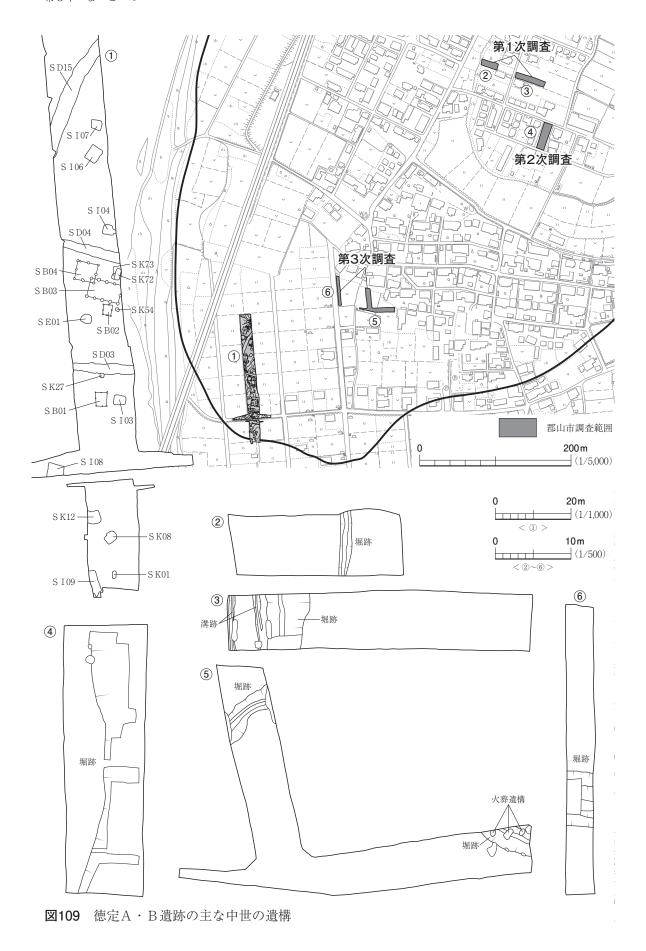
出土遺物の年代観を基に遺構を配置し、さらに重複関係から以下の変遷が辿れる。

古墳 I 期(6世紀後半): 2·3号祭祀跡、1号畑跡

古墳Ⅱ期(7世紀前半):1号祭祀跡、5号住居跡、2号畑跡

古墳Ⅲ期(7世紀後半):1.2号住居跡

古 代:5・6号建物跡



中世 I 期(12世紀末~13世紀初頭): 3·21号溝跡

中世Ⅱ期(13世紀前半):8号住居跡、16・43・47・79号土坑、13・14・16・17・20・23号溝跡

中世Ⅲ期(13世紀後半): 3 · 4 · 11 · 15 · 18号溝跡

中世Ⅳ期(14世紀代): 4号住居跡、6 · 7 · 14 · 15 · 26 · 39 · 49 · 54 · 72 · 73号土坑、1号

井戸跡、2~4号溝跡、小穴

中世 V 期 (15世紀前半): 9号住居跡、25·27·49号土坑

上記の遺構の変遷のうち、古代については5・6号建物跡からは出土遺物はないが、検出面の状況から該期とした。

中世では、13世紀~14世紀にかけて大半の遺構が含まれる。なお、3 号溝跡の存続の長さが目を引く、このことは複数回の改修が行われていることと一致している。なお、1 ~4 号建物跡については小穴と同時期の中世IV期と推定している。

第3節 遺跡の性格

今回の調査では、6世紀後半~7世紀後半にかけての集落跡と12世紀末~15世紀前半の集落跡を確認した。6世紀後半~7世紀後半にかけての集落跡は、東北新幹線関連遺跡調査で確認された集落跡の続きとみられ、6世紀後半~9世紀にかけて存続していたようである。このなかでも、6世紀後半の集落跡では鬼高系杯が出土するなど、関東地方との繋がりがみられる。なお、阿武隈川西岸に位置する郡山市淵の上遺跡は、本遺跡の対岸にあたる。この1号墳から出土した武具類は、群馬県高崎市綿貫観音山古墳出土資料と関係性が深いとされている。さらに古墳の被葬者が、本遺跡と関係が深い人物であった可能性も指摘されている(横須賀2009)。

12世紀末~15世紀前半の集落は、堀により区画されていたものと推定している。なお、阿武隈 川西岸に位置する郡山市荒井猫田遺跡は、12世紀後半~14世紀中頃にかけて存続した町跡・居館 跡である。この町跡から出土した陶器(佐藤 2022)をみると、在地産よりも非在地産の方が多く、 非在地産のなかでも常滑産が多い。この傾向は、本遺跡と同様である。なお、荒井猫田遺跡から出 土した磁器や古瀬戸の器種についても、本遺跡からも類似するものが出土している(表16)。

さらに、本遺跡では陶磁器よりもかわらけの出土点数が多い。かわらけについては、「一般農村には流通しなかった」(藤原1988)とのことから、出土する場所が限定される遺物とされる。

以上のことから、当時は希少品であったであろう鉄製獣足手取釜を始めとして、磁器・渥美焼・ 常滑焼・古瀬戸などの出土品から、荒井猫田遺跡と同程度の生活水準の集落であったことが窺われ る。その実態については、今後の調査の進展によって明らかになってゆくであろう。 (吉 野)

註1 九州国立博物館ホームページの収蔵品ギャラリーで、画像が公開されている。

引用・参考文献

愛知県史編さん委員会編 2012年「第2節 渥美窯」『愛知県史 別編 窯業3 中世・近世 常滑系』愛知県

浅野晴樹 2001年「3 茶・花・座敷飾り」『図解・日本の中世遺跡』東京大学出版会

飯村 均 2009年「4 陸奥南部における中世前期の方形竪穴建物」『中世奥羽のムラとマチ 考古学が描く列島史』東京大 学出版会

石本 弘 1995年「福島県における律令制成立以前の土器様相とその背景」『東国土器研究』第4号 東国土器研究会

海野 聡 2022年『森と木と建築の日本史』岩波新書

郡山市 2014年『郡山の歴史』

郡山市教育委員会 2014年『徳定A·B遺跡-第1·2次発掘調査報告-』

郡山市教育委員会 2015年『徳定A·B遺跡-第3·4次発掘調査報告-』

郡山市教育委員会 2016年『徳定A·B遺跡-第5·6次発掘調査報告-』

高松俊雄 1996年「福島県における祭祀遺物の様相」『論集しのぶ考古』論集しのぶ考古刊行会

玉川一郎 1981年『舞台 - 福島県天栄村における古墳時代集落跡の調査 - 』天栄村教育委員会

東北古代土器研究会 2005年『東北古代土器集成-古墳後期~奈良・集落編-〈福島〉』

財団法人瀬戸市埋蔵文化財センター 1997年『研究紀要』第5輯

佐藤 俊 2022年「郡山市荒井猫田遺跡とその周辺について」『東北中世考古学会 in 荒井猫田遺跡資料集』東北中世考古学会 菅原祥夫 2007年「第Ⅱ章 東北・北海道における6~8世紀の土器変遷と地域の相互関係 ii .福島県中通り地方中部」『古 代東北・北海道におけるモノ・ヒト・文化交流の研究』

東北学院大学文学部

永原慶二編 1995年『常滑焼と中世社会』小学館

中山雅弘 1988年「福島県における中世土器の様相」『東国土器研究』第1号 東国土器研究会

福島県教育委員会 1981年「徳定遺跡」『東北新幹線関連遺跡発掘調査報告Ⅲ』福島県文化財調査報告書第92集

福島県教育委員会 1994年「正直A遺跡」『母畑地区遺跡発掘調査報告34』福島県文化財調査報告書第288集

福島県教育委員会 2020年「荒屋敷遺跡」『一般国道115号相馬福島道路遺跡発掘調査報告8』福島県文化財調査報告書第539 集

福島県考古学会中近世部会 1996年「かわらけ編年の再検討 -11世紀から19世紀」(その1)『福島考古』第37号 福島県考古学会

福島県考古学会中近世部会 1997年「かわらけ編年の再検討-11世紀から19世紀」(その2)『福島考古』第38号 福島県考古学会

藤原良章 1988年「中世の食器・考〈かわらけ〉ノート」『列島の文化史』 5 日本エディタースクール出版部

降矢哲男 2011年「巻頭図版」解説『岩村田遺跡群西一本柳遺跡 X WII』 佐久市教育委員会

柳沼賢治 1989年「福島県中通り地方の土師器」『シンポジュウム福島県に於ける古代土器の諸問題 - 特に5~7世紀を中心 として -』 万葉の里シンポジュウム実行委員会/ 鹿島町教育委員会

山本信夫 1995年「中世前期の貿易陶磁器」『概説 中世の土器・陶磁器』真陽社

横須賀倫達 2009年「淵の上1・2号墳出土遺物の調査と研究」『福島県立博物館紀要』第23号

付章 自然科学分析

第1節 徳定 A・B遺跡の出土骨について

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

徳定A・B遺跡(福島県郡山市田村町御代田地内に所在)は、阿武隈川の右岸、郡山盆地最大の沖積地上に立地する。これまで、東北新幹線の建設に伴う発掘調査で古墳時代後期の集落跡が、区画整理事業に伴う発掘調査で縄文時代~中世の遺構・遺物が確認されている。今回、鎌倉時代の遺構から骨が出土したため、その種類等について明らかにすることにし、当時の動物利用について検討することにした。

1. 試 料

試料は、3号溝跡から6試料、15号溝跡から2試料、1号井戸跡から1試料、27号土坑から6 試料、合計15試料(TB1~15)である。なお、TB13は、TB13①、TB13②が存在する。大 半の試料は遺存状態が悪く、破片となっており、微細片が多く含まれる。

2. 分析方法

2022年6月23日、弊社技師が公益財団法人福島県文化振興財団山下分庁舎にて、出土骨を肉眼および実体顕微鏡を用いて観察し、種類・部位を同定し、写真撮影を行った。

3. 結果

確認された種類は、硬骨魚綱のタイ科、哺乳綱3種類(イヌ、ウマ、ニホンジカ)、合計4種類である(表17)。いずれの骨も焼けておらず、破片となっているものが多い。同定結果を表18に示す。以下、地点ごとに述べる。なお、骨格各部位の名称については、ウマを例として図110に示す。

・3号溝跡

TB1は、ウマの左肩甲骨である。土ごと取り上げられ、土塊状である。細かな破片となっている。TB2は、ウマの中手骨/中足骨である。遠位端部の破片で

表17 検出動物分類群一覧

脊椎動物門 Phylum Vertebrata 硬骨魚綱 Class Osteichthyse 条鰭亜綱 Subclass Actinopterygii スズキ目 Order Perciformes スズキ亜目 Suborder Percoidei タイ科 Family Sparidae 哺乳綱 Class Mammalia ネコ目(食肉目) Order Carnivora ネコ亜目 Suborder Fissipedia イヌ科 Family Canidae ウマ目(寄蹄目) Order Perissodactyla ウマ科 Family Equidae ウマ Equus caballus ウシ目 (偶蹄目) Order Artiodactyla シカ科 Family Cervidae ニホンジカ Cervus nippon

あり、遠位端幅38mm前後と推定される。TB3は、ウマの肩甲骨の破片である。TB1と同一骨

の可能性がある。TB4は、ニホンジカの左中手骨近位端である。近位端幅27.73mmを測る。TB5・TB6は、種類判断できず、大型哺乳類とした。TB5が四肢骨、TB6が土ごと取り上げられた肋骨の可能性がある破片である。

表18 骨同定結果

出土場所	時代	試料	種類	部位	左右	状態等	数量	備考
3号溝跡	鎌倉時代	T B 1	ウマ	肩甲骨 左		破片	1+	土塊状
3号溝跡	鎌倉時代	T B 2	ウマ	中手骨/中足骨		遠位端片	1+	Bd38.06 ±
3号溝跡	鎌倉時代	ТВЗ	ウマ	肩甲骨		破片	1+	TB1と同一骨
3号溝跡	鎌倉時代	T B 4	ニホンジカ	中手骨	左	近位端	1+	Bp27.73
3号溝跡	鎌倉時代	ТВ5	大形哺乳類	四肢骨		破片	18+	
3号溝跡	鎌倉時代	ТВ6	大形哺乳類	肋骨?		破片	1+	土塊状
15号溝跡	鎌倉時代	ТВ7	イヌ科	上腕骨	左?	両端欠	1+	
15号溝跡	鎌倉時代	T B 8	ウマ	橈骨	右	両端欠	1+	
1号井戸跡	鎌倉時代	ТВ9	タイ科	主上顎骨	左	破片	1+	
27号土坑	鎌倉時代	T B 10	ウマ	上顎第2後臼歯	左	略完	1	h 42.32 ±
27号土坑	鎌倉時代	ТВ11	ウマ	上顎第2前臼歯	右	破片	1+	h 34 ±
27号土坑	鎌倉時代	T B 12	ウマ	上顎第4前臼歯	右	破片	1	
27号土坑	鎌倉時代	T B 13①	ウマ	上顎第3前臼歯?	左	破片	1+	h 38 ±
		T B 132	ウマ	上顎第2前臼歯	左	破片	1+	
27号土坑	鎌倉時代	T B 14	ウマ	上顎第2後臼歯	右	破片	1	
				上顎第3後臼歯	右	破片	1	
				上顎歯		破片	11+	
27号土坑	鎌倉時代	T B 15	ウマ	上顎歯		破片	1+	

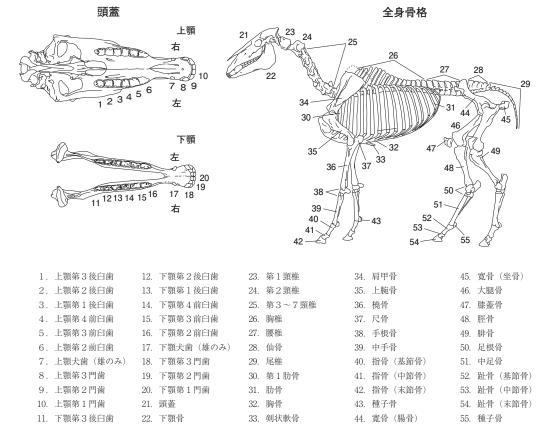


図110 ウマ骨格各部の名称 (久保・松井 (1999) に加筆)

・15号溝跡

TB7は、イヌ科左の可能性がある上腕骨の破片である。両端が欠損し、骨体部のみが残存する。TB8は、両端が欠損したウマの右橈骨である。

・1号井戸跡

TB9は、タイ科の左主上顎骨である。

・27号土抗

いずれもウマの歯で、TB10が左上顎第2後臼歯(臼歯高42.32mm前後)、TB11が右上顎第2前臼歯(臼歯高34mm前後)、TB12が右上顎第4前臼歯、TB13①が左上顎第3前臼歯?(臼歯高38mm前後)、TB13②が左上顎第2前臼歯、TB14が右上顎第2後臼歯・右上顎第3後臼歯・上顎歯の破片、TB15が上顎歯の破片である。

4.考 察

検出された種類の中で、タイ科は海産性魚類である。福島県内でタイ科は、いわき市の久世原館・番匠地遺跡(野苅家,1993)、綱取貝塚(山崎,1996)、南相馬市の北原貝塚(樋泉,2004)、浦尻貝塚(樋泉,2019)、加賀後貝塚(山崎,2001)、植松C遺跡(中村,2018)、相馬郡の三貫地貝塚(茂原ほか,1988)など、太平洋側の縄文時代の貝塚等で検出されている。鎌倉時代になると、沿岸域で漁獲されたものが、内陸部にも流通していたと考えられる。タイ科の中には、ヘダイ亜科(ヘダイ属・クロダイ属)、マダイ亜科(タイワンダイ属・マダイ属・チダイ属)、キダイ亜科(セナガキダイ属・キダイ属)などがみられるが、内側の形状をみるとマダイに近い。マダイは、太平洋日本列島各地沿岸、北海道以南の日本海などに生息し、マダイの産卵期(2~8月)になると沖合から沿岸域に移動する。本個体は大きさからみて体長40cm程度になる可能性がある。井戸跡から検出されている点を考慮すると、遺構廃棄後に生活残滓として破棄されたと考えられる。

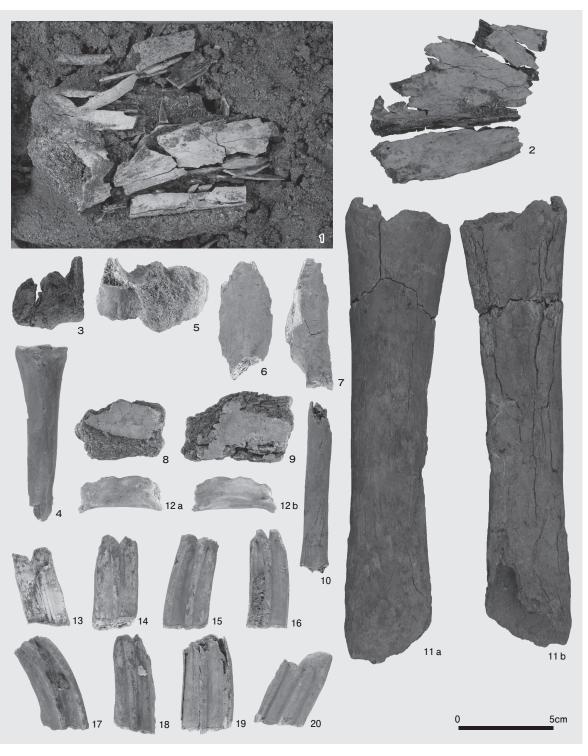
イヌ科はイヌ・キツネ・タヌキの判断ができず15号溝跡から、ニホンジカは3号溝跡から、それぞれ1点のみ検出されている。周辺に生息していたものに由来すると考えられるが、他部位も検出されないため詳細不明である。

ウマは、物資やヒトを運ぶ役割、軍用、農耕用など、多様な用途が考えられる。郡山市の正直A遺跡(櫻井・茂原,1994)で古墳~平安時代、福島市の御山千軒遺跡(森,1983)で奈良・平安時代から検出されている。3号溝跡で左肩甲骨と中手骨/中足骨の一部、15号溝跡で右橈骨、27号土坑で上顎歯が検出されている。大きさからみて、いずれも成獣であると判断できる。3号溝跡で検出される中手骨/中足骨は、西中川ほか(1991)の骨長推定式、林田・山内(1957)の体高推定式からみると、体高110cm程度となり、林田(1974)にしたがうとトカラ馬程度の小型馬に相当する可能性がある。

27号土坑で検出される上顎歯は、重複する部位がみられず、同一個体に由来する可能性が高い。西中川ほか(1991)にもとづき、左上顎第2後臼歯、右上顎第2前臼歯、左上顎第3前臼歯の可能性がある破片の臼歯高から推定される年齢は、8~10歳程度となる。

引用文献

- 林田重幸 1974 「日本在来馬の源流.日本古代文化の探求・馬」 社会思想社 p.215-262.
- 林田重幸・山内忠平 1957 「馬における骨長より体高の推定法」 鹿兒島大學農學部學術報告 6 p.146-156.
- 久保和士・松井 章 1999 「家畜その2-ウマ・ウシ」 西本 豊弘・松井 章編 「考古学と自然科学② 考古学と動物学」 同成社 p.169-208.
- 森 幸彦 1983 「動物遺体」『福島県文化財調査報告書第109集』『東北新幹線関連遺跡発掘調査報告Ⅵ 御山千軒遺跡』福島県教育委員会 p.222-223.
- 中村賢太郎 2018 「出土動物遺体の同定」『福島県文化財調査報告書第524集』『県道浪江鹿島線関連遺跡発掘調査報告書 1 植松 C 遺跡』公益財団法人福島県文化振興財団 遺跡調査部 p.313-316.
- 西中川 駿・本田 道輝・松元 光春 1991 「古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究」 平成2年度文部省科学研究費補助金(一般研究B研究成果報告書) p.99
- 野苅家宏 1993 「脊椎動物遺体」『いわき市埋蔵文化財調査報告第33冊 久世原館・番匠地遺跡 第 I 篇 概要・附篇 』 福島県いわき市教育委員会 p.99 105.
- 櫻井秀雄・茂原信夫 1994 「正直A遺跡出土の獣骨」『福島県文化財調査報告書第288集 国営総合農地開発事業 母畑地区遺跡発掘調査報告34 正直A遺跡-下巻-』福島県教育委員会 p.389-391.
- 茂原信生・大江文雄・桜井秀雄 1988 「三貫地貝塚出土の動物遺存体」『福島県立博物館調査報告第17集 三貫地貝塚』福島県立博物館 p.495-502.
- 樋泉岳二 2019 「貝類・魚類・両生類・爬虫類・哺乳類」『南相馬市埋蔵文化財調査報告第11集 浦尻貝塚3 第2分冊 自 然遺物編 』南相馬市教育委員会 p.59 126.
- 植月 学・樋泉岳二 2004 「北原西貝塚の動物遺体」『小高町文化財調査報告第5集 北原貝塚遺跡群』小高町教育委員会 p.28 57.
- 山崎京美 1996 「動物遺存体」『いわき市埋蔵文化財調査報告第45冊 綱取貝塚 第1・2次調査報告 』福島県いわき市教育委員会 p.328 343.
- 山崎京美 2001 「加賀後貝塚出土の動物遺存体」『小高町文化財調査報告書第2集 小高町内埋蔵文化財調査報告 I』小高町教育委員会 p.48-56.



10. イヌ科左?上腕骨 (TB7;15号溝跡)

20. ウマ右上顎第2前臼歯 (TB11;27号土抗)

図111 出土骨

^{1.} ウマ左肩甲骨 (TB1;3号溝跡)
2. ウマ肩甲骨 (TB3;3号溝跡)
3. ウマ中手骨/中足骨 (TB2;3号溝跡)
4. ニホンジカ左中手骨 (TB4;3号溝跡)
5. 大型哺乳類四肢骨 (TB5;3号溝跡)
6. 大型哺乳類四肢骨 (TB5;3号溝跡)
7. 大型哺乳類四肢骨 (TB5;3号溝跡)
8. 土刑哺乳類四肢骨 (TB5;3号溝跡)
8. 土刑哺乳類四肢骨 (TB5;3号溝跡)

^{8.} 大型哺乳類肋骨? (TB6;3号溝跡) 9. 大型哺乳類肋骨? (TB6;3号溝跡)

^{11.} ウマ右橈骨 (TB8:15号溝跡) 12. タイ科左主上顎骨 (TB9:1号井戸跡) 13. ウマ左上顎第2前臼歯 (TB13②:27号土抗) 14. ウマ左上顎第3前臼歯? (TB13①:27号土抗) 15. ウマ左上顎第2後臼歯 (TB10:27号土抗)

^{13.} ウマ左上頭第2接口歯(TB10・27年上れ) 16. ウマ上頭歯(TB15:27号上抗) 17. ウマ右上頭第3後臼歯(TB14:27号上抗) 18. ウマ右上顎第2後臼歯(TB14:27号上抗) 19. ウマ右上顎第4前臼歯(TB12:27号上抗)

第2節 徳定A·B遺跡製鉄関連遺物化学分析

株式会社古環境研究所

1. はじめに

徳定A・B遺跡は、福島県郡山市田村町御代田に所在し、阿武隈川右岸の沖積地上に立地する。 発掘調査において、古墳時代後期の集落跡と中世の集落跡が検出されている。ここでは、当遺跡内 での鉄生産の様相を検討する目的で、出土した製鉄関連遺物の分析調査を実施した。

2. 調查方法

(1)試料

分析試料は、徳定A・B遺跡から出土した13世紀後半から14世紀前半とみられる製鉄関連遺物3点(TF-1~TF-3)である。分析試料の詳細と調査項目を表19に示す。なお、着磁力反応、金属探知機反応の調査結果も表19に示した。

表19 供試材の履歴と調査項目

					計測値		
試料No.	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	大きさ (mm)	重量(g)	着磁力反応
TF-1		3号溝跡	椀形鍛冶滓	13 c 後半	123×109×54	900	3
TF-2	徳定A・B	4号溝跡	椀形鍛冶滓	~	89×102×29	378	2
TF-3		1 号井戸跡	椀形鍛冶滓	14 c 前半	76×72×38	250	2

	∧ == lor lo- 1844	調査項目						
試料No.	金属探知機反応	顕微鏡組織	化学分析					
TF-1	なし	0	0					
TF-2	なし	0	0					
TF-3	なし	0	0					

(2)調査項目

1) 化学成分分析

①測定元素

全鉄 (Total Fe)、金属鉄 (Metallic Fe)、酸化第一鉄 (FeO)、酸化第二鉄 (Fe₂O₃)、二酸化珪素 (シリカ:SiO₂)、酸化アルミニウム (アルミナ:Al₂O₃)、酸化カルシウム (ライム:CaO)、酸化マグネシウム (MgO)、酸化カリウム (K₂O)、酸化ナトリウム (Na₂O)、酸化マンガン (MnO)、二酸化チタン (チタニア:TiO₂)、コバルト (Co)、五酸化燐 (P₂O₅)、炭素 (C)、ヴァナジウム (V)、銅 (Cu)、化合水 (C.W.) の18成分を分析した。

②測定方法

全鉄分(Total Fe)、金属鉄(Metallic Fe)、酸化第一鉄(FeO):容量法。